



三沢市 結婚支援ニーズ調査

平成30年2月

市内の若年者(未婚・既婚)を対象に、結婚に対する意識や実態、相手を探すために取っている行動、結婚を促進/阻害する要因などについて調査しました。

三沢市政策部政策調整課

目次

1	調査概要	1
2	調査結果サマリー	2
3	回答者の属性(プロフィール).....	3
4	結婚についての意識・実態	7
5	回答者の分類(グループ).....	9
6	調査結果/ A グループ(交際相手が欲しい・結婚したい)	10
6.1	結婚願望の実態と周囲からの影響	10
6.2	結婚したい/していない理由	12
6.3	探索行動	13
6.4	相手を探す上で希望する支援・促進する要因	16
7	調査結果/ B グループ(交際相手と結婚したい).....	20
7.1	結婚願望の実態と周囲からの影響	20
7.2	結婚したい/していない理由	21
7.3	探索行動	23
7.4	相手を探す上で希望する支援・促進する要因	24
8	調査結果/ D グループ(既婚者).....	26
8.1	結婚に至った要因と周囲からの影響	26
8.2	独身時代の探索行動	29

8.3	結婚のメリット・デメリット	31
9	その他の質問	32
9.1	行政による結婚支援への意見(賛成/反対)	32
9.2	コミュニケーション力と自分への自信	33
9.3	SNS の利用実態	34
10	巻末資料	35
10.1	自由記述一覧(結婚促進要因)	35
10.2	参考情報/ C1～C4 グループ	36

1 調査概要

背景	地方の人口減少問題には若年者の県外流出とともに少子化が大きく影響しており、日本において子どもを持つには基本的に結婚が前提となっているため、若年者の未婚化・晩婚化が少子化に大きく影響していると考えられる。そこで、 三沢市の若年者を対象に結婚についての実態を調査し、今後の施策に活用するために当調査を実施する。
調査目的	市内の若年者層(未婚・既婚ともに)を対象に、 結婚に関する意識や行動等を調査し、結婚願望と意欲、相手を見つけるための行動の実態を把握する。 また、結婚する意欲はあるものの 未婚である原因 を探るとともに、意欲の高い 希望者の結婚を促す/阻害する要因と効果的な支援内容 を明らかにすることを目的とする。
調査方法	インターネット調査 ※三沢市インターネット市政モニター制度のアンケートシステムを利用 ※調査対象者に案内状を郵送し、回答フォームへのアクセスと回答を依頼
調査対象者	・ 市内在住、20 歳以上 40 歳以下の男女(未婚/既婚含む) ・ サンプル抽出方法：住民基本台帳から単純無作為抽出 ・ サンプル数：2,000 人 ・ 回答者数：225 人（回収率：11.25%）
調査時期	平成 29 年 12 月
調査内容	① 利用者プロフィール(属性) - 性別、年齢、職業、年収、家族構成、子どもの人数 ② コミュニケーション能力、自信 ③ SNS の活用効果 - 社交性、自己効力感(自信) ④ 行政が結婚支援を行うことへの是非(賛成/反対) ⑤ 結婚有無、結婚歴、交際相手の有無、交際したい相手の有無 ⑥ 交際願望、結婚願望 ⇒ <u>未婚で両方とも「あり」をターゲットとして設定</u> ⑦ 結婚観、親の結婚生活、周囲からの影響 ⑧ 結婚したい時期、結婚したい理由、結婚していない理由、焦り ⑨ 交際/結婚相手を探すためのアプローチ行動、アプローチしない理由 ⑩ 支援の必要性、支援して欲しい相手・内容、 ⑪ 婚活イベント参加経験、参加しない理由 ⑫ 結婚を阻害する要因

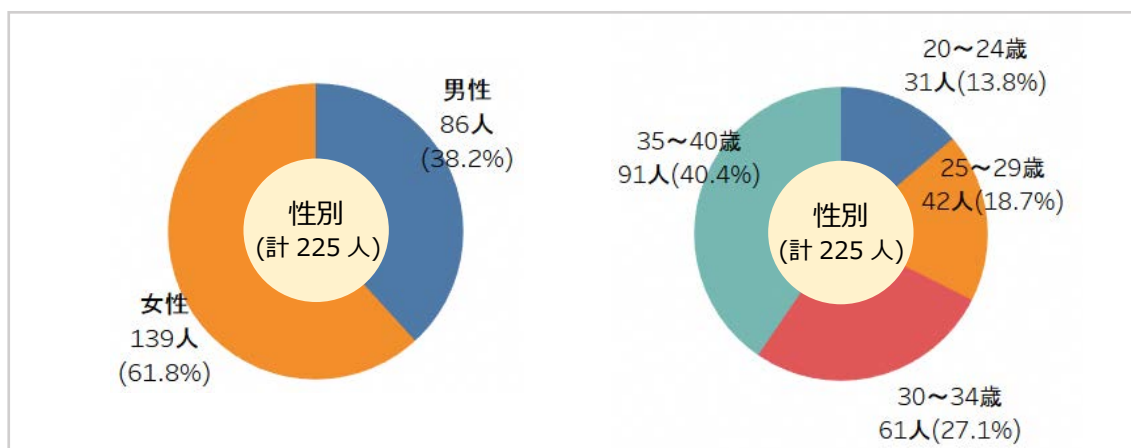
2 調査結果サマリー

未婚者の結婚に対する意識と実態	未婚・既婚共通質問
20~39 歳の未婚率<理論値>は 44% (本調査では 40 歳が含まれており、既婚者の回答率が高かったため 35%) ※理論値 = H22 年度国勢調査の結果を元に算出 ・未婚者の約 7 割は「交際相手なし」 ・未婚で交際相手がいない回答者の約 7 割は交際相手が欲しい派、約 8 割は結婚したい派 ⇒未婚者の願望と現実の間にギャップがある	<属性(プロフィール)> 男女比はおおよそ 4:6、約 7 割が 30~40 歳 男性未婚者の約 6 割は年収 300 万未満 女性は未婚・既婚に関わらず年収の傾向差なし <行政による結婚支援について> 賛成は回答者全体の約 7 割 <SNS の利用実態> 大部分の回答者は LINE を利用
未婚で交際相手が欲しいかつ結婚したい A グループ	
<結婚願望・結婚していない焦り> 半数以上は近い将来に結婚したい ただし心理的な焦りはそれほど強くない <結婚したい理由> 好きな人と幸せな家庭を築き子どもを持ちたい <結婚していない理由> 出会いが少ない、理想の相手がいない <探索行動> 相手を探すために積極的に動いていない ↑↓ 結婚願望は強く、出会いの機会・理想の相手を求めているものの、人間関係を築いたり相手と仲良くなるスキルや自分の魅力・条件に対する自信が弱く、消極的で受け身な傾向	
未婚で交際相手と結婚したい B グループ <交際相手との結婚願望・焦り> 約 7 割は近い将来に結婚したい ただし心理的な焦りはそれほど強くない <結婚したい理由> 好きな人と幸せな家庭を築き子どもを持ちたい <まだ結婚に至っていない理由> 結婚資金や収入など金銭的な理由が一番 次いで相手の都合や事情があるから <交際相手と結婚しやすくなる要因> 金銭的支援、収入や貯蓄増、時間的余裕 交際相手との結婚を望んでいるが、現実的な制約(特に金銭面)があり躊躇している傾向	既婚者 D グループ <出会いの場> 友人・知人からの紹介、次いで職場・学校 <交際のきっかけ> 実際に会って交流、連絡先を交換 <結婚した理由> 性格や気が合った、幸せな家庭を築きたい <独身時代の探索行動> 特にやっていないが自然な出会いで結婚 もしくは積極的な行動を取っていた <結婚のメリット> 子どもや配偶者を持つ喜び <結婚のデメリット> あらゆる自由がない 食事会・飲み会や、合コン・街コン等に参加するなど積極的な行動を取る人が多い

3 回答者の属性(プロフィール)

図表 3-1：性別および年代

男性が4割、女性が6割で、35歳～40歳が一番多く、全体の4割を占めている。



図表 3-2：結婚支援というテーマに対する回答状況

「結婚支援」というテーマに対し、どのような性別、年代の人が回答する傾向にあったのかを調べるため、以下のシミュレーションを行った。¹

○シミュレーション内容

平成 22 年度の国勢調査の結果をもとに、市内で 2,000 人を抽出。回答率が本調査と同じ 11.25%とし、回答数を性別、年代ごとに分類した。

既婚女性、特に 35～39 歳の回答率が高く、結婚支援に対しての関心の高さが伺えた。

対して、男女ともに 25～29 歳の未婚者は回答率が低い結果となった。

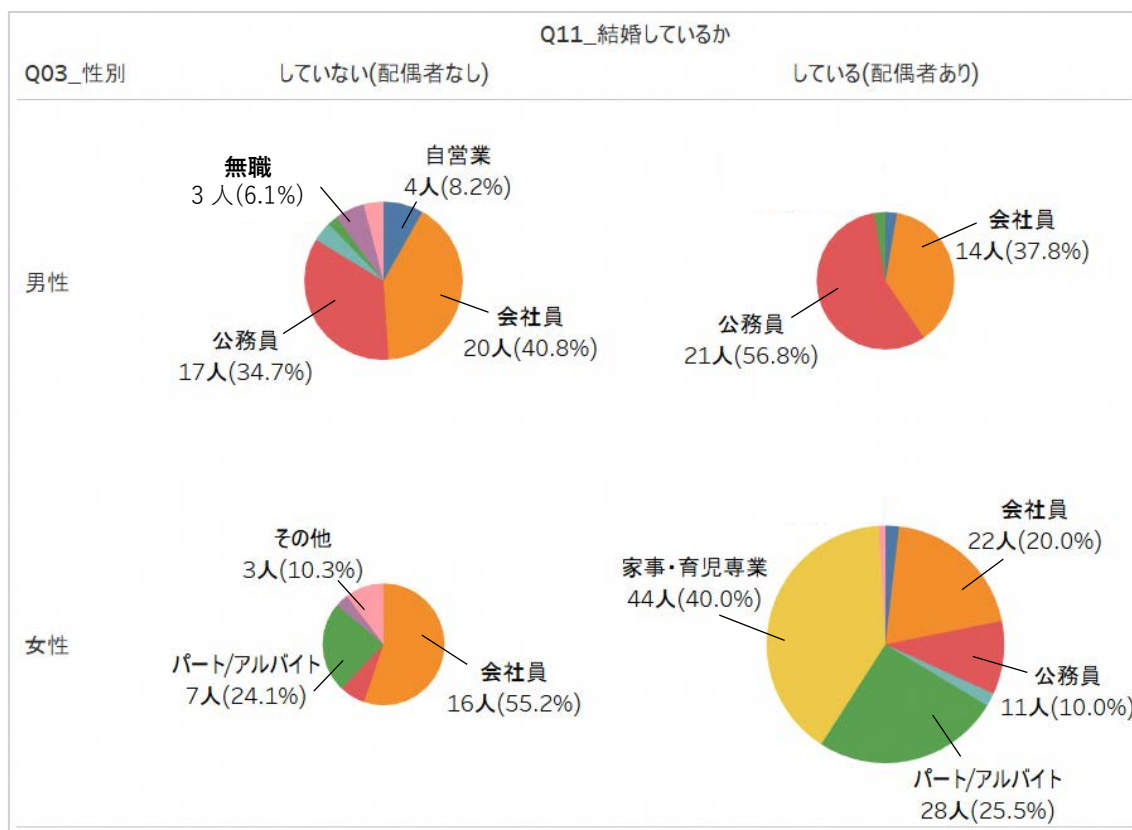
実際の回答人数						シミュレーション結果					
年代	未婚		既婚		総計	年代	未婚		既婚		総計
	男性	女性	男性	女性			男性	女性	男性	女性	
20～24歳	13	14	0	4	31	20～24歳	19	14	2	4	38
	6.1%	6.5%	0.0%	1.9%	14.5%		8.3%	6.1%	1.0%	1.7%	17.1%
25～29歳	9	3	7	23	42	25～29歳	19	12	11	14	57
	4.2%	1.4%	3.3%	10.7%	19.6%		8.6%	5.3%	5.1%	6.3%	25.2%
30～34歳	16	4	14	27	61	30～34歳	13	7	18	23	61
	7.5%	1.9%	6.5%	12.6%	28.5%		5.8%	3.1%	8.0%	10.2%	27.1%
35～39歳	11	6	12	51	80	35～39歳	11	5	25	27	69
	5.1%	2.8%	5.6%	23.8%	37.4%		5.0%	2.3%	11.1%	12.1%	30.6%
総計	49	27	33	105	214	総計	62	38	57	68	225
	22.9%	12.6%	15.4%	49.1%	100.0%		27.7%	16.9%	25.2%	30.3%	100.0%

※注)シミュレーション結果(右表)の数値は四捨五入しており、人数は整数、割合は小数点第1位までを表示している。そのため、総計の人数や割合が表示されている数値の合計と完全に一致しない場合がある。

¹ 国勢調査の年代の区切りと合わせ 30代後半は 35～39歳で集計した(実際の回答者は 35～40歳)。

図表 3-3：性別×結婚有無×職業

男性は既婚・未婚ともに会社員と公務員が大部分を占め、女性は未婚者の約8割が会社員かパート/アルバイト、既婚者は約7割が家事・育児専業かパート/アルバイトであった。



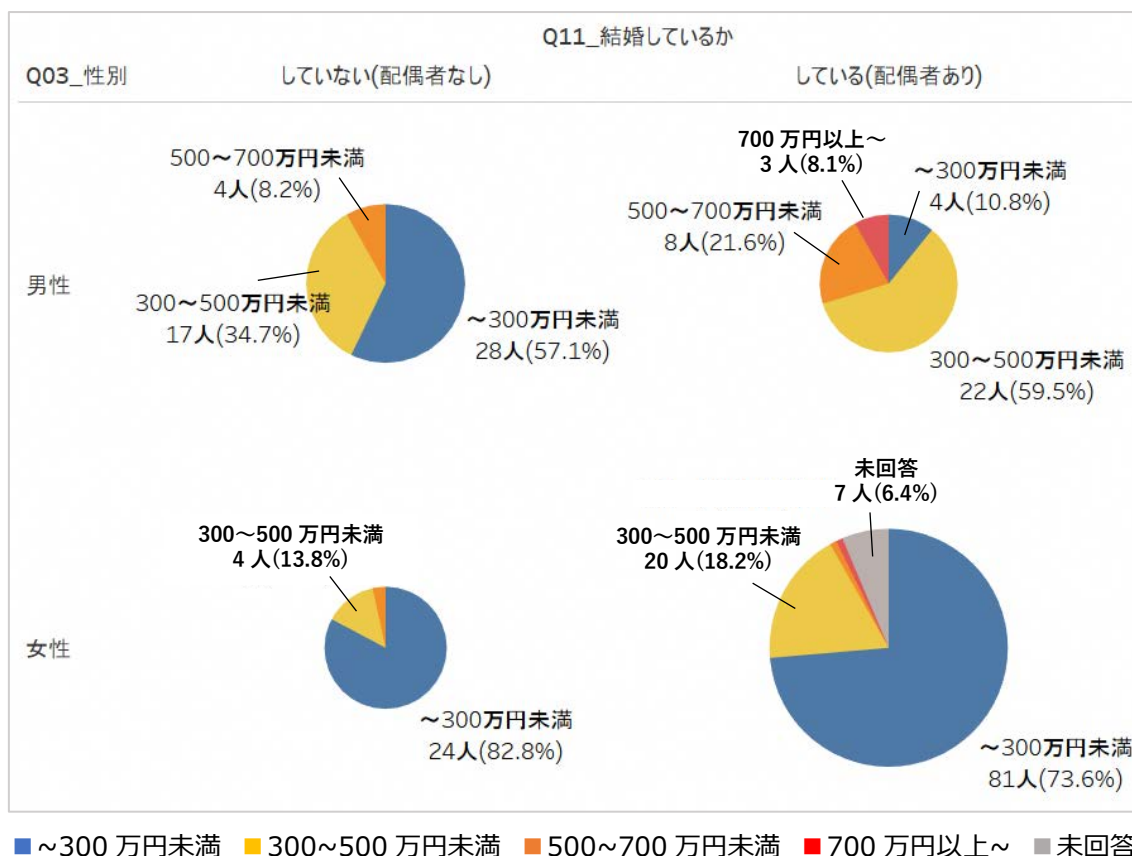
		Q11_結婚しているか					
Q03_性別	Q05_職業	していない(配偶者なし)		している(配偶者あり)		総計	
		人数	人数 (%)	人数	人数 (%)	人数	人数 (%)
男性	自営業	4	8.2%	1	2.7%	5	5.8%
	会社員	20	40.8%	14	37.8%	34	39.5%
	公務員	17	34.7%	21	56.8%	38	44.2%
	派遣社員	2	4.1%			2	2.3%
	パート/アルバイト	1	2.0%	1	2.7%	2	2.3%
	無職	3	6.1%			3	3.5%
	その他	2	4.1%			2	2.3%
	合計	49	100.0%	37	100.0%	86	100.0%
女性	自営業			2	1.8%	2	1.4%
	会社員	16	55.2%	22	20.0%	38	27.3%
	公務員	2	6.9%	11	10.0%	13	9.4%
	派遣社員			2	1.8%	2	1.4%
	パート/アルバイト	7	24.1%	28	25.5%	35	25.2%
	家事・育児専業			44	40.0%	44	31.7%
	無職	1	3.4%			1	0.7%
	その他	3	10.3%	1	0.9%	4	2.9%
	合計	29	100.0%	110	100.0%	139	100.0%

図表 3-4：性別×結婚有無×年収

男性の場合は、結婚の有無によって年収の傾向が大きく異なり、既婚者は300～500万円未満が約6割、500～700万円未満が約2割である一方、未婚者は300万円未満が約6割であった。

女性は、既婚・未婚に関わらず、多くが300万円未満となっている。

男性では、既婚者の方が未婚者より年収が高い傾向にあり、女性は未婚・既婚によらず年収の違いはほとんどみられなかった。

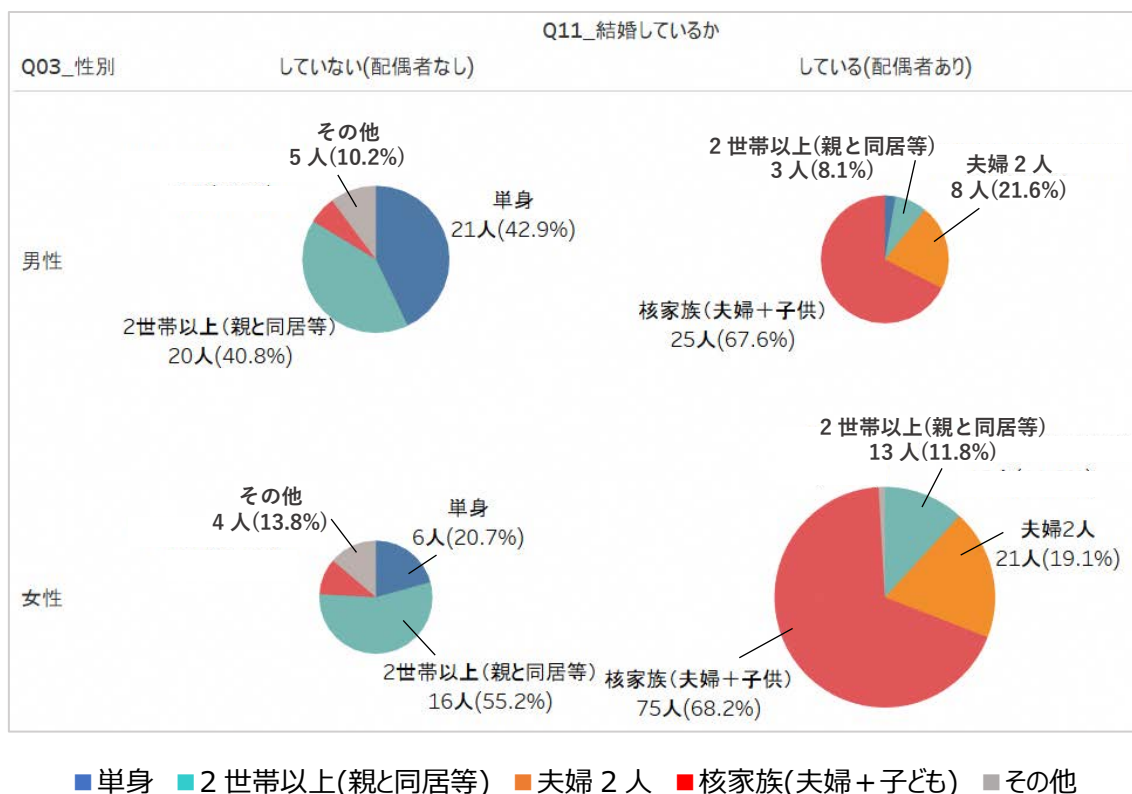


Q03_性別	Q06_年収	Q11_結婚しているか				総計	
		していない(配偶者なし)		している(配偶者あり)			
		人数	人数 (%)	人数	人数 (%)	人数	人数 (%)
男性	～300万円未満	28	57.1%	4	10.8%	32	37.2%
	300～500万円未満	17	34.7%	22	59.5%	39	45.3%
	500～700万円未満	4	8.2%	8	21.6%	12	14.0%
	700万円以上～			3	8.1%	3	3.5%
	合計	49	100.0%	37	100.0%	86	100.0%
女性	～300万円未満	24	82.8%	81	73.6%	105	75.5%
	300～500万円未満	4	13.8%	20	18.2%	24	17.3%
	500～700万円未満	1	3.4%	1	0.9%	2	1.4%
	700万円以上～			1	0.9%	1	0.7%
	未回答			7	6.4%	7	5.0%
	合計	29	100.0%	110	100.0%	139	100.0%

図表 3-5：性別×結婚有無×家族構成

未婚者の場合は、多くが単身か2世帯以上(親と同居等)で、女性の方が2世帯以上(親と同居等)の割合が高く半数以上を占めていた。

一方既婚者は、男女ともに核家族(夫婦+子ども)か夫婦2人が約7割だった。

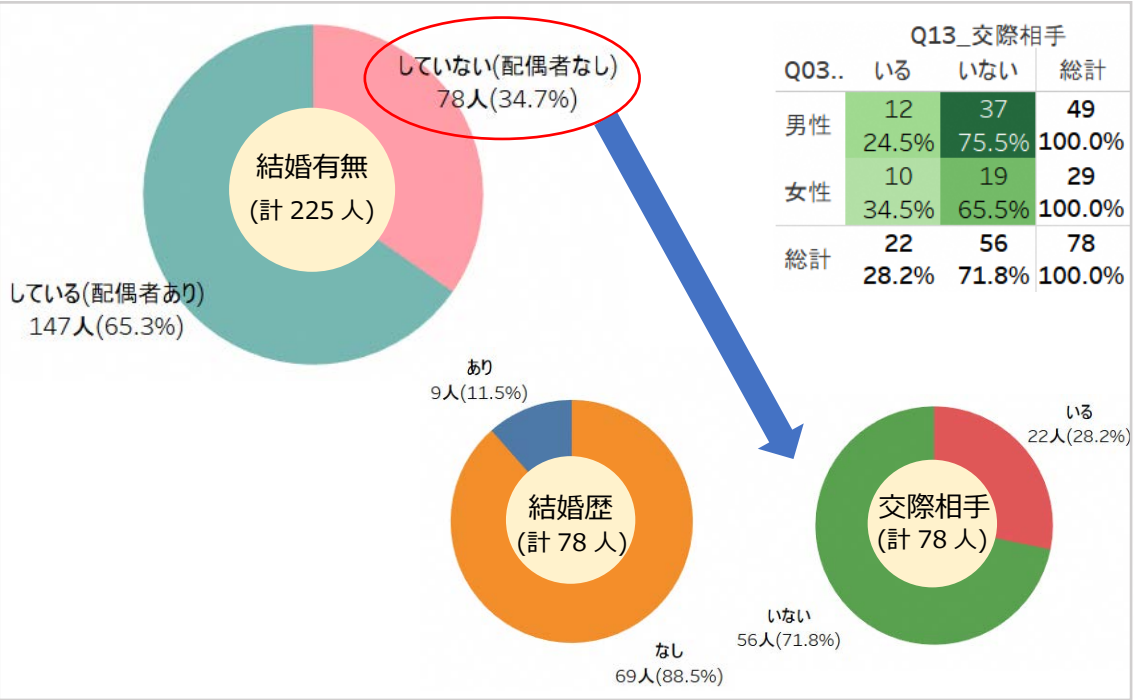


Q03_性別	Q07_同居家族構成	Q11_結婚しているか				総計	
		していない(配偶者なし)		している(配偶者あり)			
		人数	人数 (%)	人数	人数 (%)	人数	人数 (%)
男性	単身	21	42.9%	1	2.7%	22	25.6%
	2世帯以上(親と同居等)	20	40.8%	3	8.1%	23	26.7%
	夫婦2人			8	21.6%	8	9.3%
	核家族(夫婦＋子供)	3	6.1%	25	67.6%	28	32.6%
	その他	5	10.2%			5	5.8%
	合計	49	100.0%	37	100.0%	86	100.0%
女性	単身	6	20.7%			6	4.3%
	2世帯以上(親と同居等)	16	55.2%	13	11.8%	29	20.9%
	夫婦2人			21	19.1%	21	15.1%
	核家族(夫婦＋子供)	3	10.3%	75	68.2%	78	56.1%
	その他	4	13.8%	1	0.9%	5	3.6%
	合計	29	100.0%	110	100.0%	139	100.0%

4 結婚についての意識・実態

図表 4-1：現在結婚しているか/結婚歴・交際相手の有無

「(結婚)していない」と回答した 78 人のうち、約 9 割が結婚歴がなく、約 7 割が「(現在交際中の相手は)いない」と回答している。



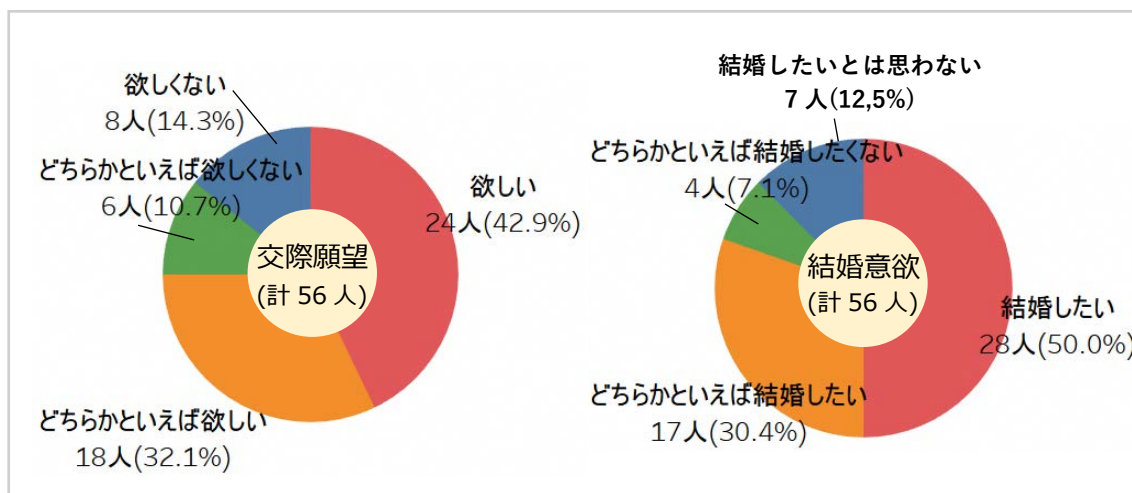
<参考値> H22 年度国勢調査による男女別・年代別の未婚率

	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳
男性	88.8%	63.0%	42.1%	31.0%
女性	78.4%	45.7%	23.6%	16.2%

平成 22 年度 国勢調査の結果から、本調査と同じサンプル数・回収率を仮定し、同じ年代区切りの 20～39 歳で未婚率をシミュレーションした場合、未婚率の理論値は 44.4%となる。本調査の場合、シミュレーション結果と比較して既婚者の回答数が多く、未婚率の低い 40 歳が含まれており、未婚者の回答数が少なくなっているため、論理値よりも低い未婚率になったと考えられる(実際の回答人数：シミュレーション結果は、未婚者が 76：100、既婚者が 138：125)。

図表 4-2：交際相手が欲しいか/将来的に結婚したいか

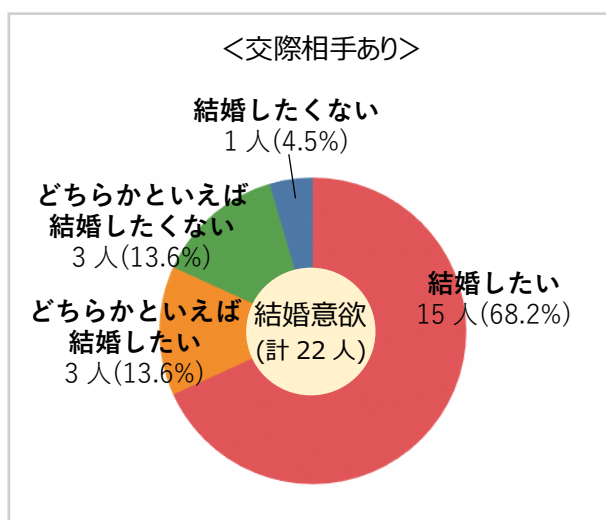
未婚で、「(交際相手が)いない」と回答した 56 人のうち、交際願望については、約 7 割は交際相手が「欲しい」または「どちらかといえば欲しい」と回答している。また、約 8 割が将来的に「結婚したい」または「どちらかといえば結婚したい」と回答している。



このことから、「未婚者の多くは交際相手を望んでおり、結婚したいという意欲は高い」といえるものの、それが実現されていない現状があるという結果となった。

図表 4-3：現在交際中の人と将来的に結婚したいか

未婚で、交際相手がいると回答した 22 人のうち、約 8 割が現在交際中の相手と「結婚したい」または「どちらかといえば結婚したい」と回答している。



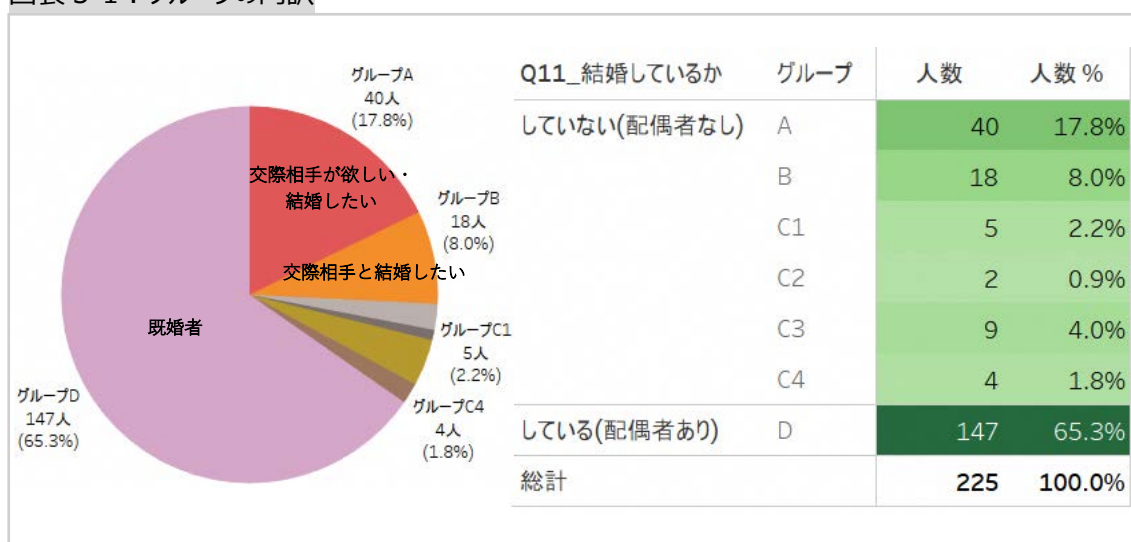
このことから、相手と結婚したい意欲は高いものの、まだ結婚に至っていない現状があるという結果となった。

5 回答者の分類(グループ)

回答者の現状に合わせ、さらに詳細を分析していくため、全回答者を以下のとおり分類した。

A グループ (40 人)	交際相手が欲しい・結婚したい 優先度<高>	未婚/交際相手なし/交際願望あり/結婚意欲あり ⇒どうしたら結婚しやすくなるか？
B グループ (18 人)	交際相手と結婚したい 優先度<中>	未婚/交際相手あり/交際相手との結婚意欲あり ⇒交際相手との結婚に踏み切るには？
C1 グループ (5 人)	その他の少数グループ 優先度<低> ※参考情報	交際相手なし/交際願望なし/結婚願望あり (結婚だけしたい)
C2 グループ (2 人)		交際相手なし/交際願望あり/結婚願望なし (交際だけしたい)
C3 グループ (9 人)		交際相手なし/交際願望なし/結婚願望なし (交際も結婚もしたくない)
C4 グループ (4 人)		交際相手あり/交際願望なし (交際相手と結婚したくない)
D グループ (147 人)	既婚者 ※比較対象	現在結婚している ⇒なぜ結婚したか？どのように結婚に至ったか？

図表 5-1：グループの内訳



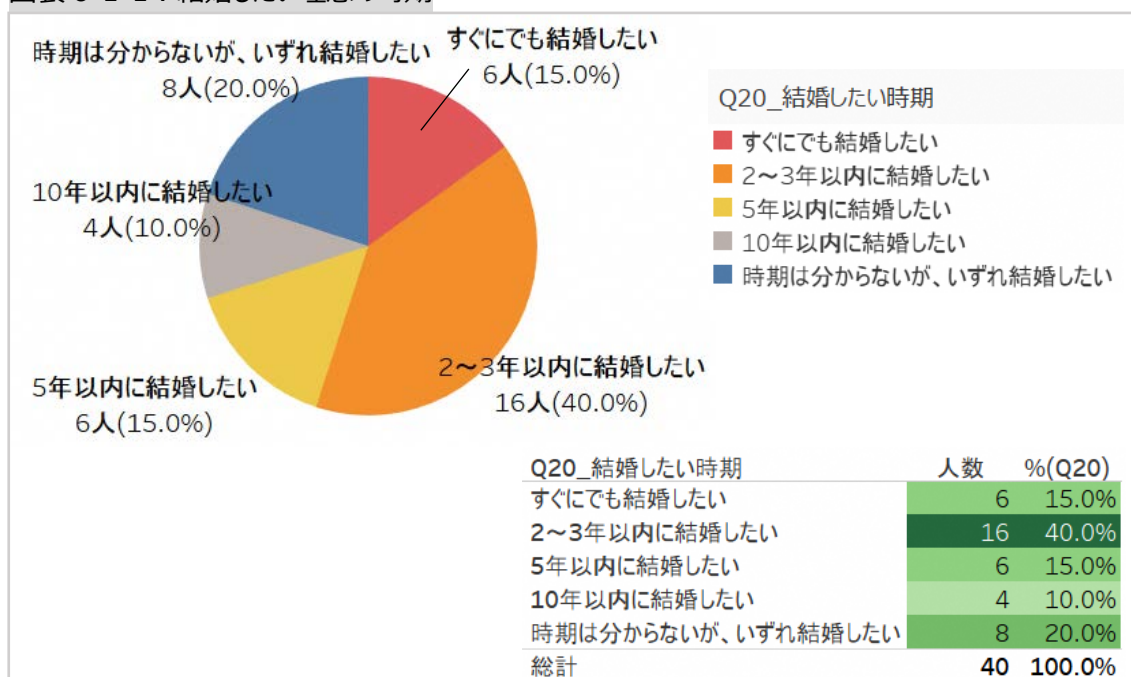
6 調査結果/ A グループ（交際相手が欲しい・結婚したい）

6.1 結婚願望の実態と周囲からの影響

半数以上は近い将来に結婚したい

理想とする結婚希望時期について、「すぐにでも結婚したい(15.0%)」「2～3年以内に結婚したい(40.0%)」が合わせて約5割となっており、半数以上は近い将来に結婚を希望している。

図表 6-1-1：結婚したい理想の時期

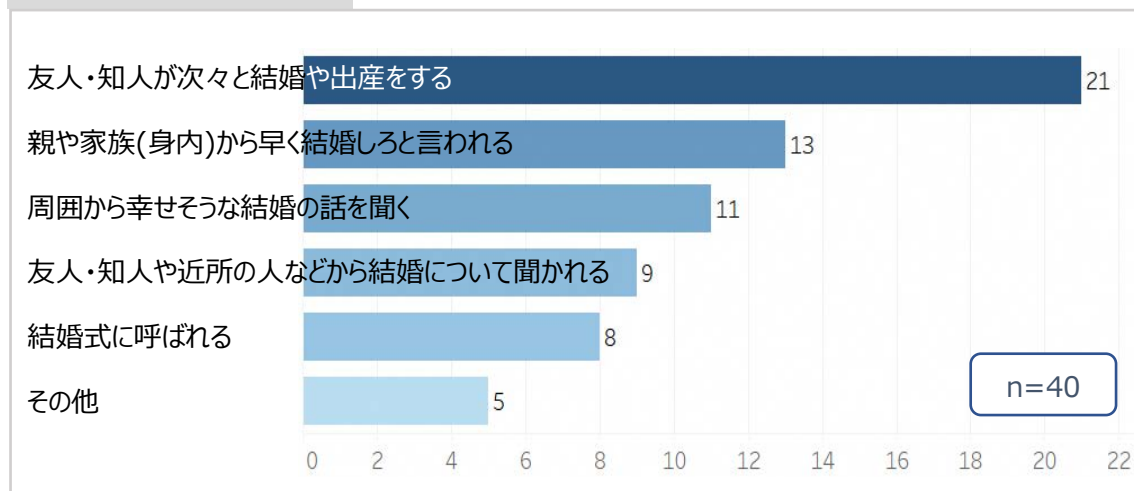


友人や知人の結婚・出産で結婚を意識することが多い

周囲でどのようなことがあると結婚を強く意識するかについては、最も多かったものが「**友人・知人の結婚・出産**（52.5%）」で、回答者の半数以上が選択していた。

次いで「**親や家族から早く結婚しろと言われる**（32.5%）」であったため、いわゆる身内からのプレッシャーよりも、友人や知人の結婚・出産をきっかけに結婚を意識する傾向が伺える。

図表 6-1-2：周囲からの影響 ※複数回答可

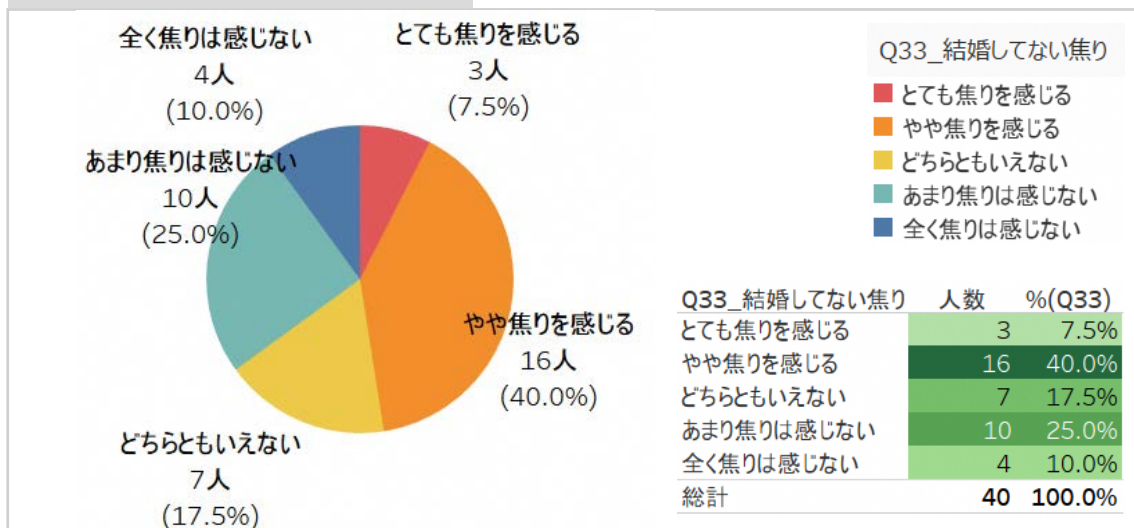


ただし結婚していないことへの焦りはそれほど強くない

現在結婚していないことについて「やや焦りを感じる(40.0%)」が最も多く、「とても焦りを感じる(7.5%)」は少数であった。

また、回答者の半数以上が、「全く焦りは感じない(10.0%)」「あまり焦りは感じない(25.0%)」「どちらともいえない(17.5%)」のいずれかで回答しており、結婚していないことに対する心理的な切迫度はそれほど強くないと考えられる。

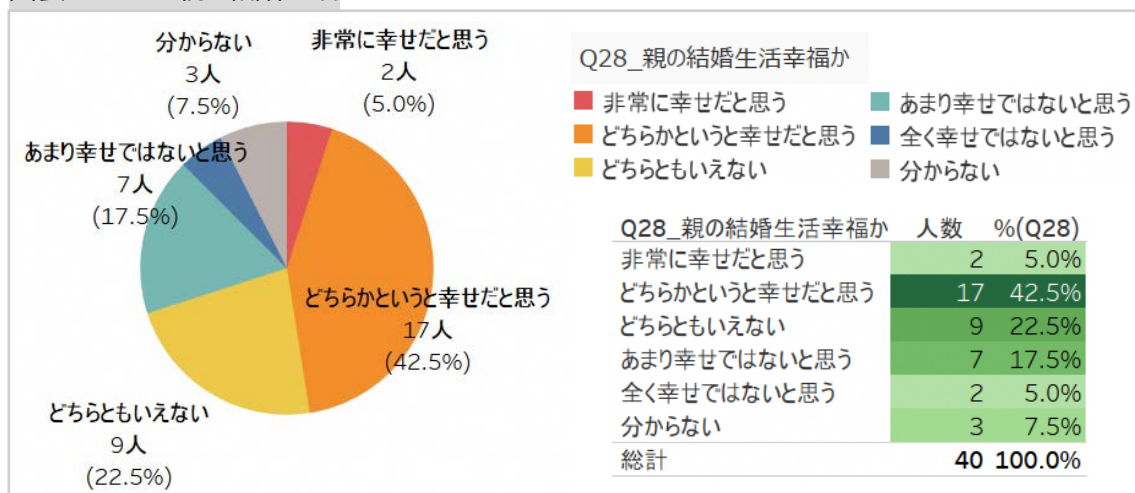
図表 6-1-3：結婚していないことへの焦り



親の結婚生活は、幸せな方だと思う

自分の親は幸せな結婚生活を送っていると思うかという質問に対しては、「どちらかという和幸福だと思う(42.5%)」が最も多く、非常に幸せだと思う(5.0%)」を含めると、**半数程度の回答者が幸せな方だと感じている**といえる。

図表 6-1-4：親の結婚生活



6.2 結婚したい/していない理由

次に、結婚したい理由と現在していない理由のトップ 3(1 位～3 位)を選んでもらい、1 位=3 ポイント、2 位=2 ポイント、3 位=1 ポイントとしてポイントを算出し、選んだ人の割合を集計した。

<結婚したい理由>

好きな人と一緒に幸せな家庭を築きたい

結婚したい理由として、多くの回答者が選んだ理由は「好きな人とずっと一緒にいたいから」「幸せな家庭を築きたいから」であった。次いで「子どもが欲しいから」が選ばれており、子どもが最たる理由ではないものの、好きな人と幸せな家庭を築き、子どもをもうけたいから結婚したいという傾向を読み取ることができる。

図表 6-2-1：結婚したい理由 ※順位回答

Q29_結婚したい理由	<グループA> 交際・結婚したいが相手がない未婚者(n=40)					
	順位	ポイント	割合	1位	2位	3位
好きな人とずっと一緒にいたいから	1位	64	75.0%	30.0%	25.0%	20.0%
幸せな家庭を築きたいから	2位	64	72.5%	32.5%	22.5%	17.5%
子どもが欲しいから	3位	45	60.0%	12.5%	27.5%	20.0%
1人だと寂しいから	4位	32	42.5%	12.5%	12.5%	17.5%
経済的に安定したいから	5位	13	20.0%	2.5%	7.5%	10.0%
社会的なプレッシャーを感じるから	6位	10	10.0%	7.5%	0.0%	2.5%
家を継がないといけないから	7位	5	7.5%	0.0%	5.0%	2.5%
家事や育児を助けて欲しいから	8位	3	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
社会的な信用を得られるから	9位	2	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
その他	10位	2	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
計				100.0%	100.0%	100.0%

＜現在結婚していない理由＞

出会いが少ない、理想の相手がいない

結婚していない理由として、最も1位に選ばれていた理由が「**出会いの機会が少ないから**」であり、約8割の回答者が1位～3位のいずれかに選択していた。次いで「**理想の相手に巡り会えていないから**」が選ばれていた。

このことから、そもそも**出会う機会がなく、理想の相手がいないから結婚していない**と考えている人が多い結果となった。

図表 6-2-2：現在結婚していない理由 ※順位回答

Q30_結婚していない理由	＜グループA＞交際・結婚したいが相手がいない未婚者(n=40)					
	順位	ポイント	割合	1位	2位	3位
出会いの機会が少ないから	1位	76	85.0%	40.0%	25.0%	20.0%
理想の相手に巡り会えていないから	2位	50	57.5%	20.0%	27.5%	10.0%
資金や収入が不十分だから	3位	30	42.5%	10.0%	12.5%	20.0%
まだ自由でいたいから	4位	19	20.0%	12.5%	2.5%	5.0%
必要性を強く感じていないから	5位	17	20.0%	7.5%	7.5%	5.0%
趣味や娯楽を楽しみたいから	6位	17	30.0%	0.0%	12.5%	17.5%
仕事やキャリアを優先させたいから	7位	10	17.5%	0.0%	7.5%	10.0%
責任を伴う(重く感じる)から	8位	10	15.0%	2.5%	5.0%	7.5%
その他	9位	7	7.5%	5.0%	0.0%	2.5%
まだ若すぎるから	10位	4	5.0%	2.5%	0.0%	2.5%
計				100.0%	100.0%	100.0%

6.3 探索行動

交際相手や結婚相手に会うために、普段自分からどのような行動をしているかを尋ねた。

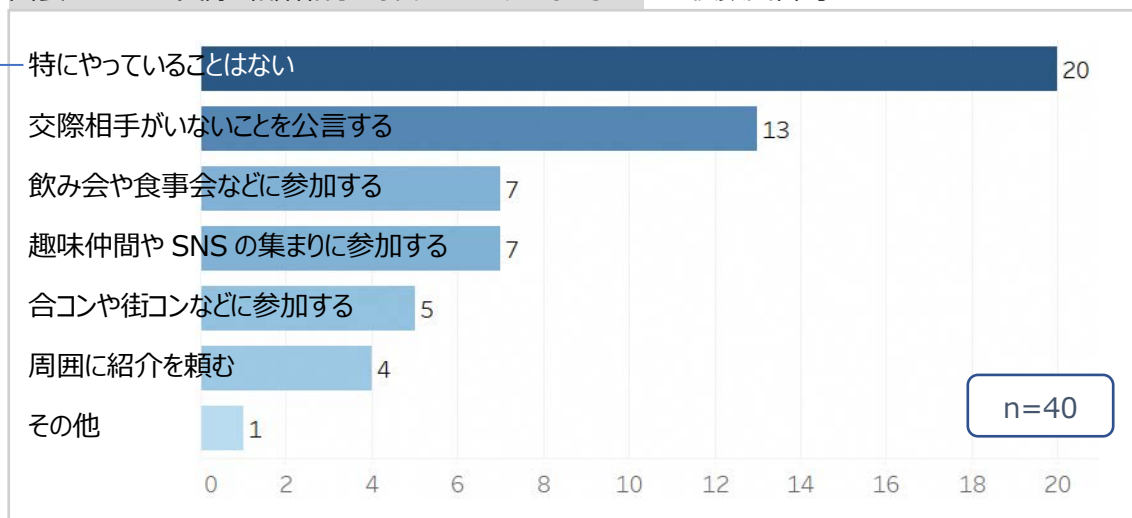
＜交際相手や結婚相手を探すために普段やっていること＞

特にやっていないか、交際相手がいないことを公言する程度

相手を探すためにやっていることとして、回答者の約半数が「**特にやっていることはない**」と回答している。次いで「**交際相手がいないことを公言する**」となっており、交際相手や結婚相手が欲しいと思っていても自分から行動していない人が大部分であるといえる。

交際相手や結婚相手が欲しいと考えているにもかかわらず、現在がいない理由として、**自分から積極的に出会いの場に参加し、相手を見つけるための行動をとっていない**という**消極的で受動的な特徴**があることが読み取れる。

図表 6-3-1：交際・結婚相手を探すためにやっていること ※複数回答可

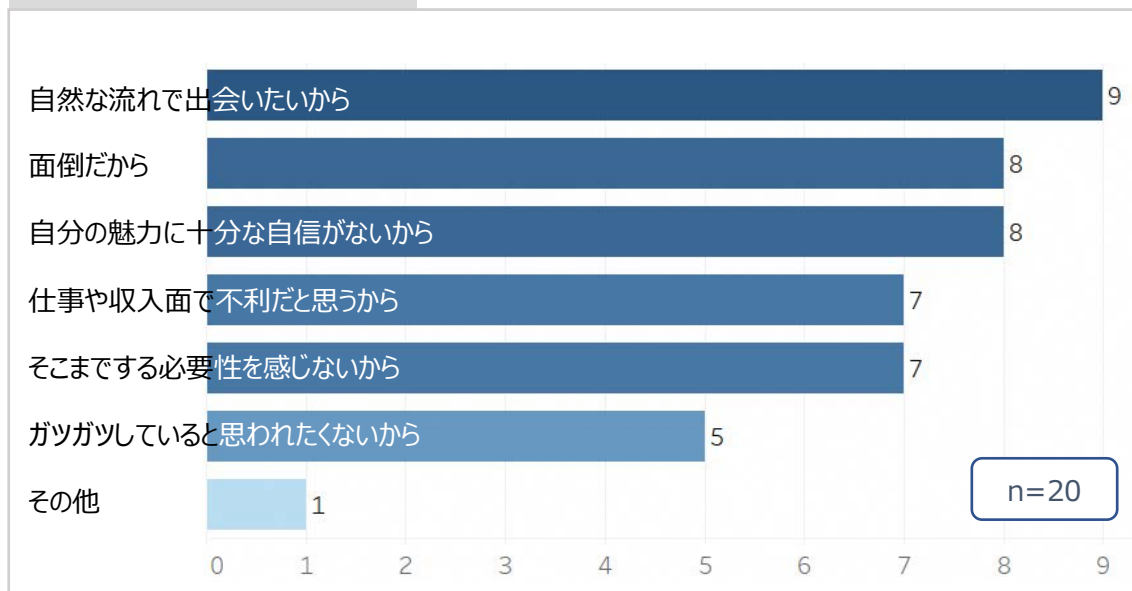


＜特に何もやっていない理由＞

理由は人それぞれだが、特徴的な点は「面倒」「自分に自信がない」

「自然な流れで出会いたい」「面倒」「自分の魅力に自身がない」「自分は条件的に不利」「必要性を感じない」など、ばらつきが見られている。

図表 6-3-2：特にやっていない理由 ※複数回答可

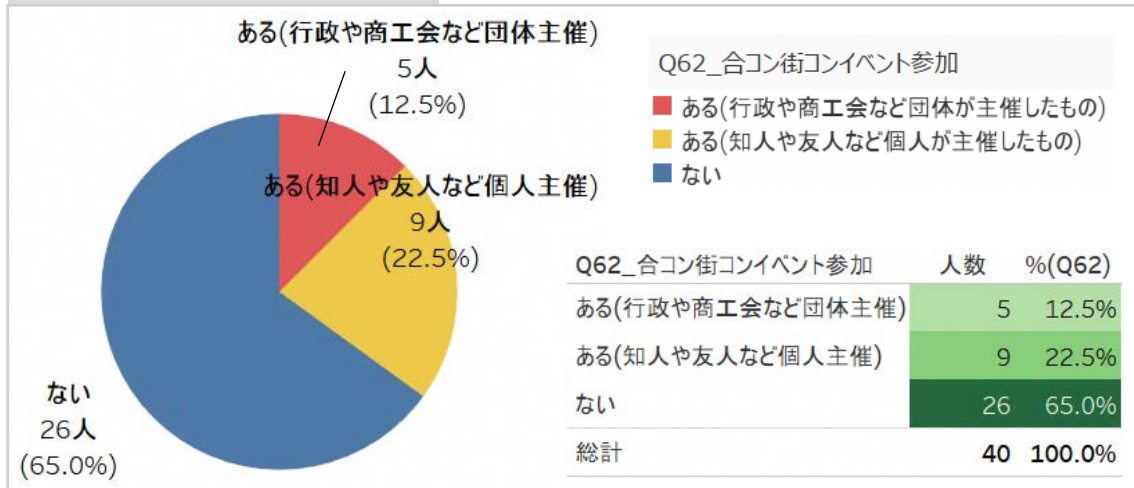


<合コン・街コンなどへの参加経験>

6割以上がない

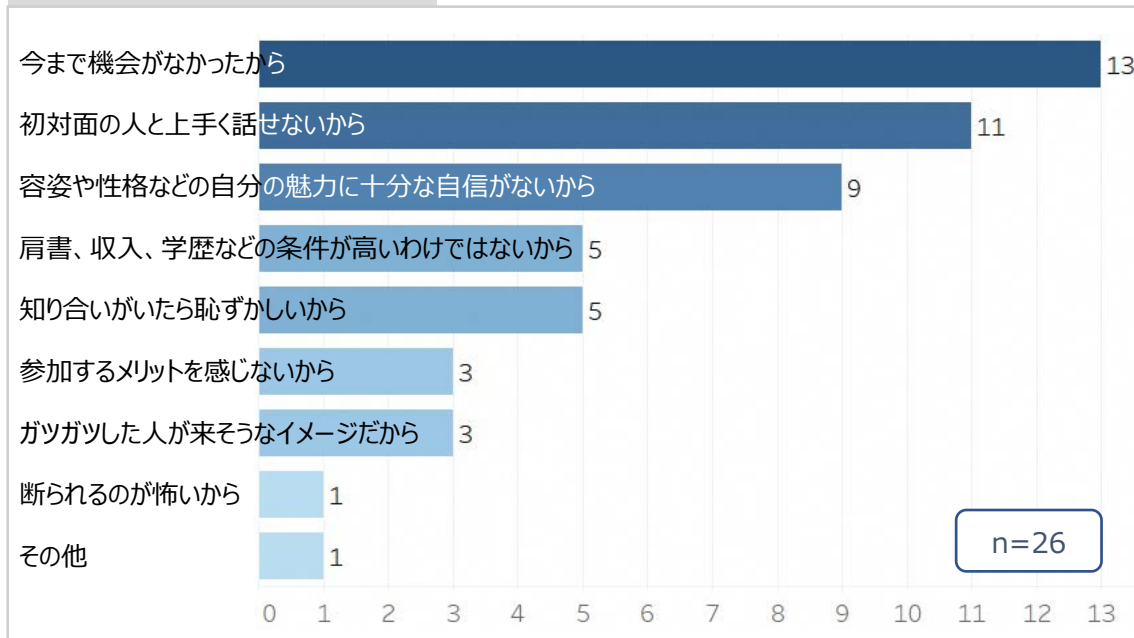
結婚していない理由として「出会いの機会が少ない」と回答している人が多いものの、合コンや街コンなどのイベントへの参加経験は約6割がないと回答している。

図表 6-3-3：合コン・街コン参加経験



参加したことがない理由として、「今まで機会がなかった」「初対面の人と上手く話せない」「自分の魅力に自信がない」が挙げられていた。

図表 6-3-4：参加したことがない理由 ※複数回答可



6.4 相手を探す上で希望する支援・促進する要因

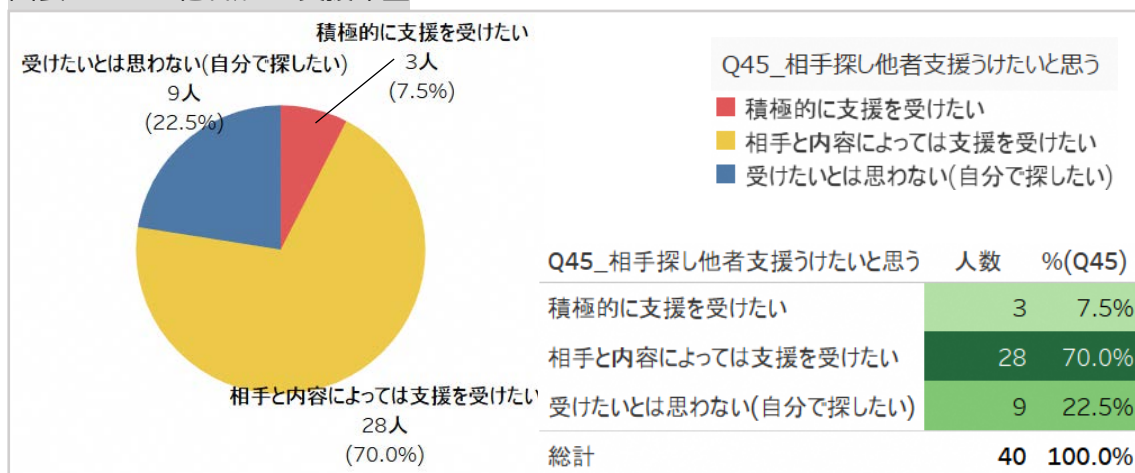
交際相手や結婚相手を見つけるうえで、希望する支援や相手を探しやすくなる要因について尋ねた。

<他者からの支援を受けたいか>

相手と内容によっては支援を受けたい

交際相手や結婚相手を探すために、「積極的に支援を受けたい」または「相手と内容によっては支援を受けたい」と回答した人は約 8 割であり、多くの人が支援を希望している結果となった。

図表 6-4-1：他者からの支援希望

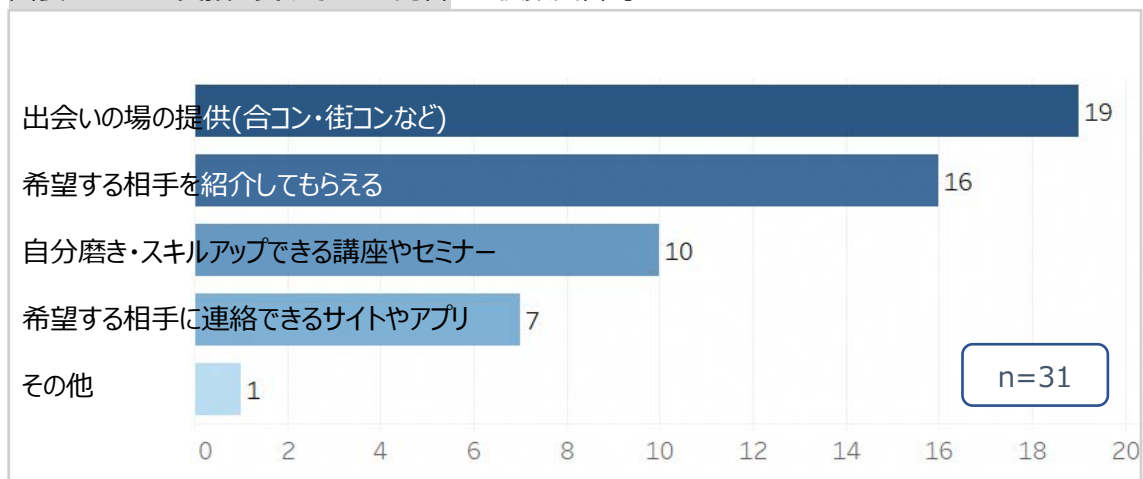


<支援を受けてもいい内容>

「出会いの場の提供」と「希望する相手の紹介」

希望する支援内容については、「出会いの場の提供」と「希望する相手の紹介」が特に多かった。第三者による出会いの場の提供や、希望する相手の紹介といった支援を希望する人が多いのではないかと考えられる。

図表 6-4-2：支援を受けてもいい内容 ※複数回答可



＜支援を受けてもいい相手＞

出合いの場の提供⇒公的な相手、希望する相手の紹介⇒私的な相手

支援を受けてもいい相手については、内容によって傾向が大きく異なり、出合いの場の提供については「民間企業」や「市/商工会」という公的な相手に対し、希望する相手の紹介については「友人・知人」という私的な相手からの支援を希望する人が多かった。

図表 6-4-3：支援を受けてもいい相手 ※複数回答可 (n=31)

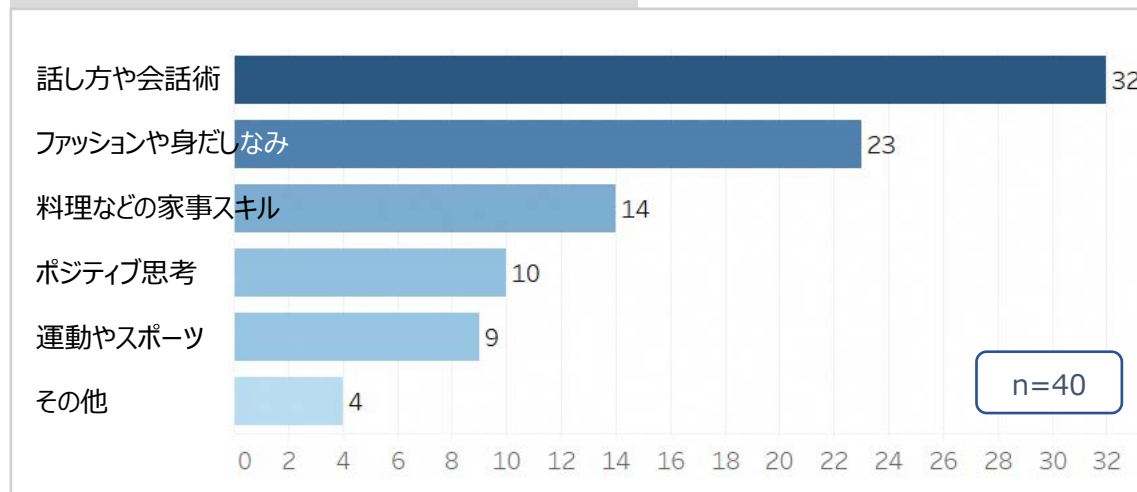
		支援相手						計
		家族	友人 知人	市 商工会	民間 企業	非営利 団体 (NPO)	その他	
支援 内容	希望する相手を紹介してもらえる	6	13	8	8	5	1	41
	出合いの場の提供(合コン・街コンなど)	—	—	14	16	7	1	38
	希望する相手に連絡できるサイトやアプリ	—	—	6	6	5	0	17
	自分磨き・スキルアップできる講座やセミナー	—	—	6	6	6	1	19
	その他	1	1	1	1	1	1	6
計		7	14	35	37	24	4	121

<アプローチしやすくなるための魅力やスキル>

話し方や会話術、ファッションや身だしなみ

相手にアプローチしやすくなるための魅力やスキルについては、「話し方や会話術」という回答が多かった。次いで「ファッションや身だしなみ」が多く、相手からの第一印象に大きくかかわる魅力やスキルを重要視しているといえる。

図表 6-4-4：相手にアプローチしやすくなる魅力やスキル ※複数回答可



<どうしたら結婚相手を探しやすくなるか【自由記述】>

出会いの場、現実的な問題の解決、自分の積極性

自身にとって、どうなれば結婚相手を探しやすくなるかについて自由記述を設けた。
最も多かった内容は「**出会いの機会**」についてであり、次いで「**経済的・時間的な余裕**」
についての記述が多かった。また、「**自分の積極性**」についての記述も見られた。

図表 6-4-5：結婚相手を探しやすくなる促進要因

- 1 位…出会いの機会(9 人)
- 2 位…経済的な余裕(3 人) / 時間的な余裕(3 人) / 自分の積極性(3 人)
- 5 位…支援サービス(2 人)

- その他(2 人)

【結果より：A グループ】

A グループは 出会いの場や希望する相手の紹介を求めているものの、自分の魅力や条件、初対面の人との会話に十分な自信がもてないため、その結果自分からは行動しない消極的で受動的な傾向 が伺える。

そのため、出会いの場の提供や希望相手の紹介のほか、交際や結婚へ向けたアクションを起こし、自ら実現しようとするマインドや行動を醸成するような支援が必要であると考えられる。

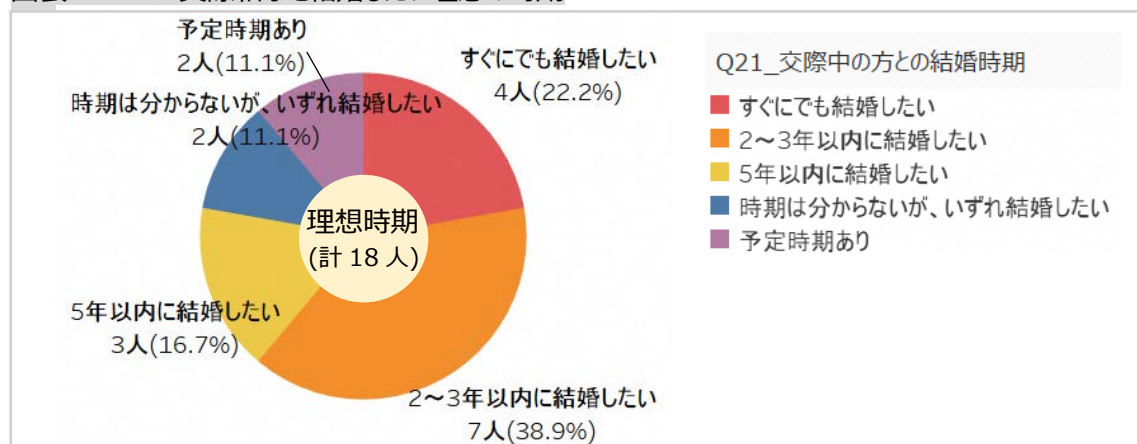
7 調査結果/ B グループ(交際相手と結婚したい)

7.1 結婚願望の実態と周囲からの影響

約 7 割は近い将来に結婚したい

現在交際中の人との結婚希望時期については、「予定時期あり(11.1%)」「すぐにでも結婚したい(22.2%)」「2～3年以内に結婚したい(38.9%)」が合わせて約 7 割となっており、多くの回答者が交際相手と近い将来に結婚を希望している。

図表 7-1-1：交際相手と結婚したい理想の時期



友人や知人の結婚・出産で結婚を意識することが多い

周囲でどのようなことがあると結婚を強く意識するかについては、最も多かったものが「友人・知人の結婚・出産」で、回答者の半数以上が選択していた。

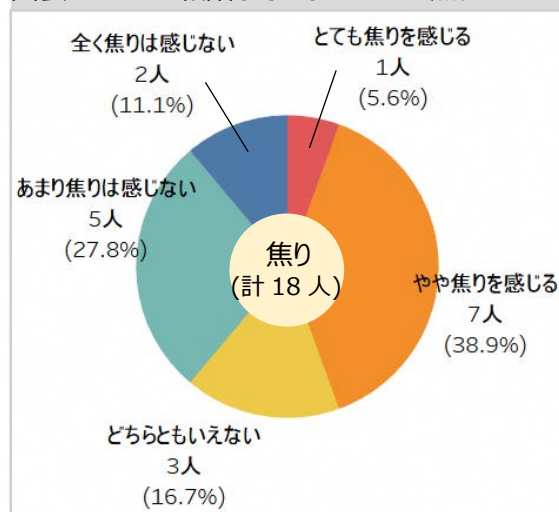
図表 7-1-2：周囲からの影響 ※複数回答可



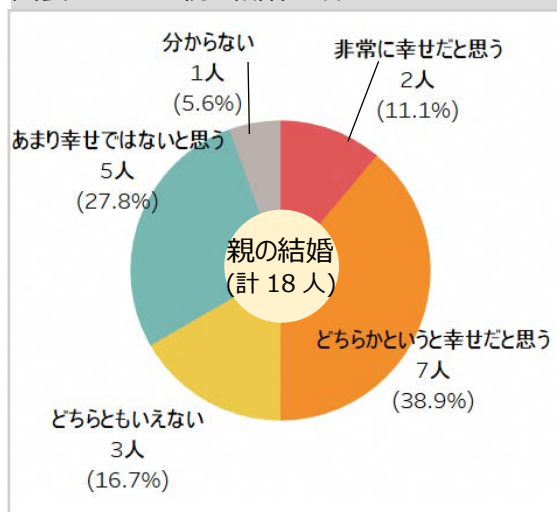
結婚していないことへの焦りはそれほど強くない / 親の結婚生活は、幸せな方だと思う

現在結婚していないことについて、「やや焦りを感じる(38.9%)」が最も多く、**結婚していないことに対する焦りはそれほど強くない**といえる。親の結婚生活については、「どちらか」といって幸せだと思う(38.9%)」「非常に幸せだと思う(11.1%)」を含めると、**約半数程度の回答者が幸せな方だと感じている**といえる。

図表 7-1-3：結婚していないことへの焦り



図表 7-1-4：親の結婚生活



7.2 結婚したい/していない理由

結婚したい理由は、好きな人と幸せな家庭を築きたいから

結婚したい理由として、多くの回答者が選んだ理由が「幸せな家庭を築きたいから」「好きな人とずっと一緒にいたいから」、次いで「子どもが欲しいから」となった。

交際相手がいっても、結婚したい理由は好きな人と一緒に幸せな家庭を築き、子どもをもうけたいからという傾向を読み取ることができる。

図表 7-2-1：結婚したい理由 ※順位回答

Q29_結婚したい理由	<グループB> 交際相手はいるがまだ結婚していない未婚者(n=18)					
	順位	ポイント	割合	1位	2位	3位
幸せな家庭を築きたいから	1位	32	88.9%	27.8%	33.3%	27.8%
好きな人とずっと一緒にいたいから	2位	28	66.7%	33.3%	22.2%	11.1%
子どもが欲しいから	3位	25	66.7%	27.8%	16.7%	22.2%
1人だと寂しいから	4位	9	27.8%	5.6%	11.1%	11.1%
経済的に安定したいから	5位	7	22.2%	5.6%	5.6%	11.1%
社会的な信用を得られるから	6位	3	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%
家事や育児を助けて欲しいから	7位	2	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
社会的なプレッシャーを感じるから	8位	2	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
計				100.0%	100.0%	100.0%

※選択肢の「家を継がないといけないから」「その他」は該当者なし

金銭的な理由、相手の都合・事情がある

現在の交際相手と結婚していない理由として、最も1位に選ばれていた理由が「(自分の)結婚資金や収入が不十分だから」であり、次いで「相手の都合や事情があるから」が選ばれていた。

「相手の都合・事情」の内訳として最も多いのは「(相手の)結婚資金や収入が不十分だから」で、交際相手と結婚していない理由として、現実的な金銭面での理由が大きいと 考えている人が多い結果となった。

図表 7-2-2：交際中の人とまだ結婚していない理由 ※順位回答

Q31_交際相手と結婚していない理由 (※自分の理由)	<グループB> 交際相手はいるがまだ結婚していない未婚者(n=18)					
	順位	ポイント	割合	1位	2位	3位
結婚資金や収入が不十分だから	1位	27	55.6%	38.9%	16.7%	0.0%
相手の都合や事情があるから	2位	19	61.1%	5.6%	33.3%	22.2%
交際期間がまだ短いから	3位	15	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
責任を伴う(重く感じる)から	4位	9	33.3%	5.6%	5.6%	22.2%
親の了解・賛成が得られないから	5位	8	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%
仕事やキャリアを優先させたいから	6位	6	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%
趣味や娯楽を楽しみたいから	7位	6	16.7%	5.6%	5.6%	5.6%
まだ若すぎるから	8位	5	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%
結婚する必要性を強く感じていないから	9位	5	22.2%	0.0%	5.6%	16.7%
その他	10位	4	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%
まだ自由でいたいから	11位	4	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%
計				100.0%	100.0%	100.0%

→【相手の都合・事情の内訳(n=11)】 ※複数回答可

- ◆結婚できるだけの資金や収入が不十分だから(4人)
- ◆趣味や娯楽を楽しみたいから(3人)、まだ自由でいたいから(3人)
- ◆親の了解・賛成が得られないから(2人)、結婚する必要性を強く感じていないから(2人)
- ◆遠距離で離れているから(1人)、仕事やキャリアを優先させたいから(1人)、その他(1人)

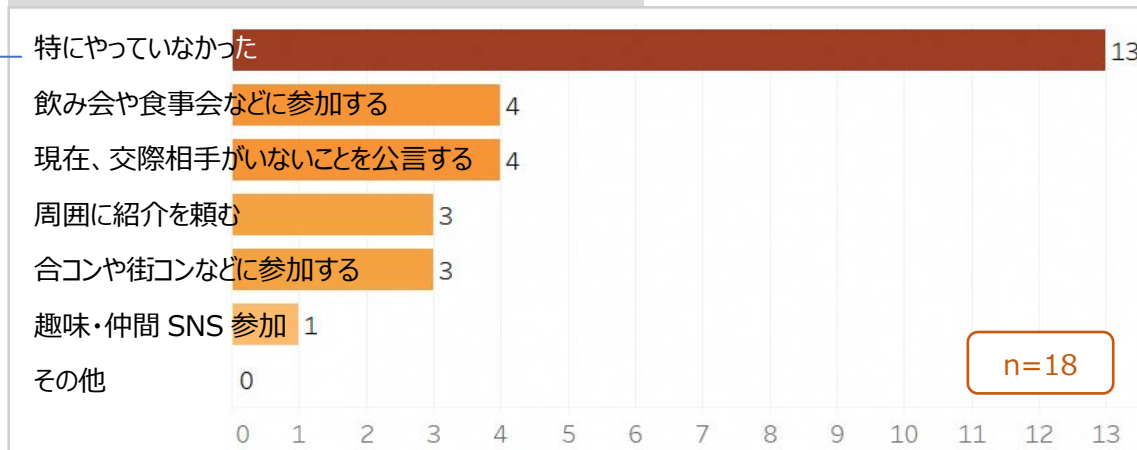
7.3 探索行動

<交際相手や結婚相手を探すためにやっていたこと>

大部分は特にやっていなかった

相手を探すためにやっていたこととして、多くの回答者が「特にやっていなかった」と回答している。

図表 7-3-1：交際・結婚相手を探すためにやっていたこと ※複数回答可



【特にやっていなかった理由(n=13)】 ※複数回答可

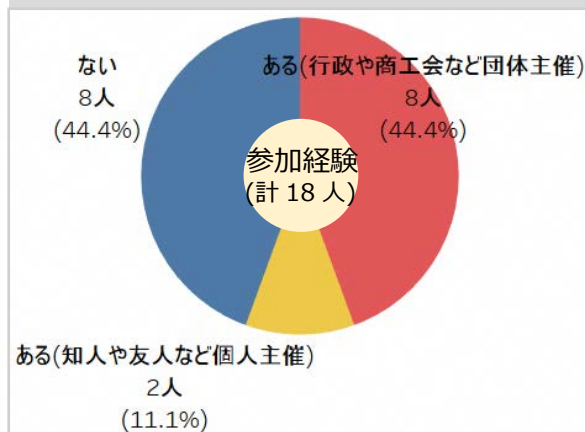
- ◆ 自然な流れで出会いたいから(7人)
- ◆ そこまでする必要を感じない(2人)、自分の魅力に十分な自信がない(2人)、面倒(2人)
- ◆ ガツガツしていると思われたくないから(1人)

<合コン・街コンなどへの参加経験>

5割以上があり

「ある(行政や商工会など団体主催)」、「ある(知人や友人など個人主催)」を含めると、半数以上の回答者が参加経験ありと回答している。

図表 7-3-2：合コン・街コン参加経験



【参加したことがない理由(n=8)】

※複数回答可

- ◆ 今まで機会がなかったから(4人)
- ◆ 参加するメリットを感じないから(3人)
- ◆ 容姿や性格などの自分の魅力に十分な自信がないから(3人)
- ◆ 初対面の人と上手く話せないから(3人)
- ◆ ガツガツした人が来そうなイメージだから(2人)

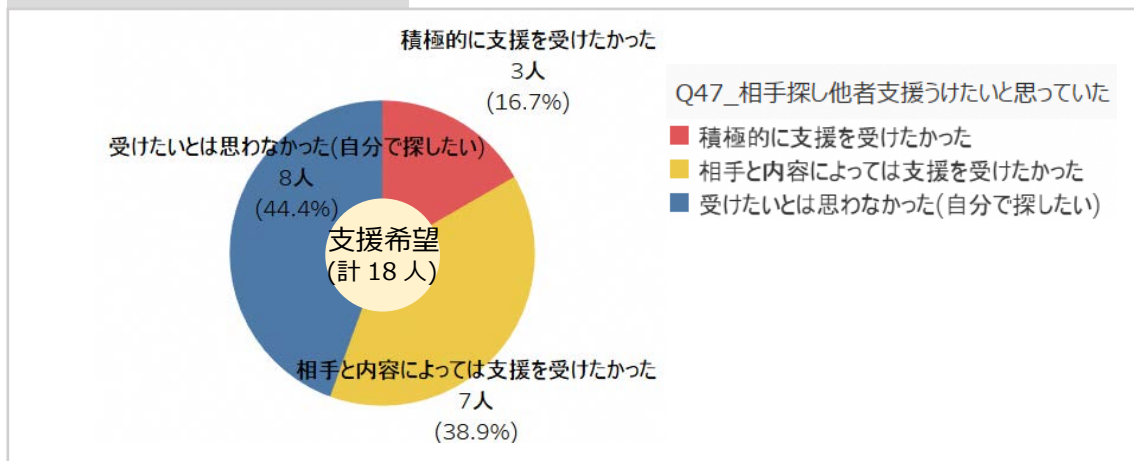
7.4 相手を探す上で希望する支援・促進する要因

<他者からの支援を受けたかったか>

支援を受けたいとは思わなかった、もしくは相手と内容によっては受けなかった

交際相手や結婚相手を探すために、支援を「**受けたいとは思わなかった(44.4%)**」または「**相手と内容によっては支援を受けたかった(38.9%)**」と回答した人は約 8 割であり、「積極的に支援を受けたかった」と回答した人は少数であるという結果となった。

図表 7-4-1：他者からの支援希望



<支援を受けてもいい内容と相手>

「希望する相手の紹介」と「出会いの場の提供」

希望する支援内容については、「**希望する相手の紹介**」「**出会いの場の提供**」が特に多かった。

図表 7-4-2：支援を受けてもいい内容 ※複数回答可



支援を受けてもいい相手については、回答人数が 10 人と少ないものの、出会いの場の提供については「民間企業や市/商工会」という公的な相手に対し、希望する相手の紹介については「友人・知人」という私的な相手からの支援を希望する人が多かった。

図表 7-4-3：支援を受けてもいい内容と相手 ※複数回答可(n=10)

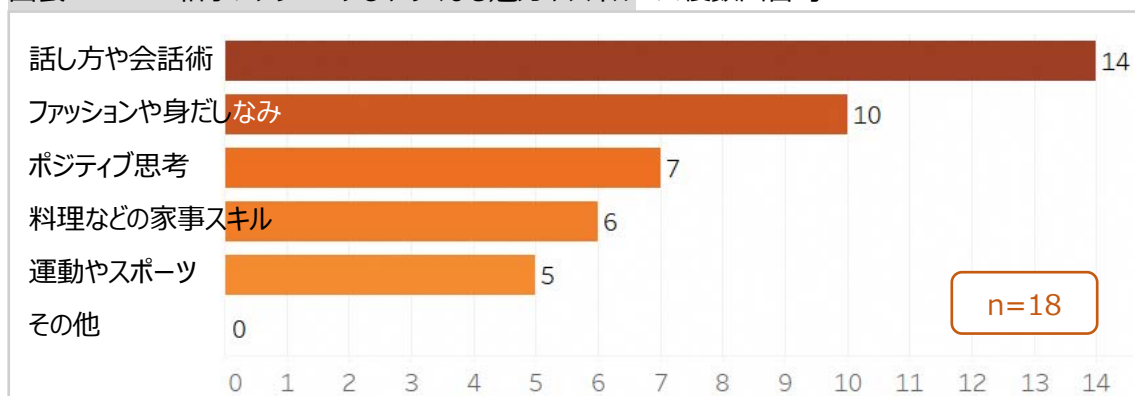
		支援相手						計
		家族	友人 知人	市 商工会	民間 企業	非営利 団体 (NPO)	その他	
支援 内 容	希望する相手を紹介してもらえる	2	5	4	4	3	0	18
	出会いの場の提供(合コン・街コンなど)	－	－	5	5	4	0	14
	希望する相手に連絡できるサイトやアプリ	－	－	2	2	2	0	6
	自分磨き・スキルアップできる講座やセミナー	－	－	1	0	1	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0
計		2	5	12	11	10	0	40

<アプローチしやすくなるための魅力やスキル>

話し方や会話術、ファッションや身だしなみ

「話し方や会話術」という回答が一番多く、次いで「ファッションや身だしなみ」という結果となった。

図表 7-4-4：相手にアプローチしやすくなる魅力やスキル ※複数回答可



<どうしたら交際相手と結婚しやすくなるか【自由記述】>

行政による金銭的な支援や収入・貯蓄の増加

最も多かった内容は「行政からの支援」(主に保育料、教育費、児童手当といった金銭的な支援)であり、次いで「収入や貯蓄の増加」と金銭面についての記述が多かった。

図表 7-4-5：交際相手と結婚しやすくなる促進要因

- 1 位…行政からの支援(5 人) ←主に金銭的な支援
- 2 位…収入や貯蓄の増加(2 人) / 時間や仕事の余裕(2 人)
- その他(2 人)

8 調査結果/ D グループ(既婚者)

<属性(プロフィール)>

図表 8-1 : 年齢/結婚年数/子どもの人数

年齢は約 8 割が 30 歳~40 歳で、子どもは 1 人か 2 人が多く、いわゆる新婚(結婚 1~3 年目)以外が約 7 割を占めることから、比較的結婚生活の長い人が多いといえる。

Q04_年齢	人数	Q04(%)	Q08_子供	人数	Q08(%)	Q22_結婚	人数	Q22(%)
20~24歳	4	2.7%	1人	38	25.9%	1~3年目	39	26.5%
25~29歳	30	20.4%	2人	52	35.4%	4~6年目	35	23.8%
30~34歳	41	27.9%	3人	23	15.6%	7~9年目	37	25.2%
35~40歳	72	49.0%	4人以上	3	2.0%	10~14年目	31	21.1%
	147	100.0%	なし	31	21.1%	15~18年目	5	3.4%
				147	100.0%		147	100.0%

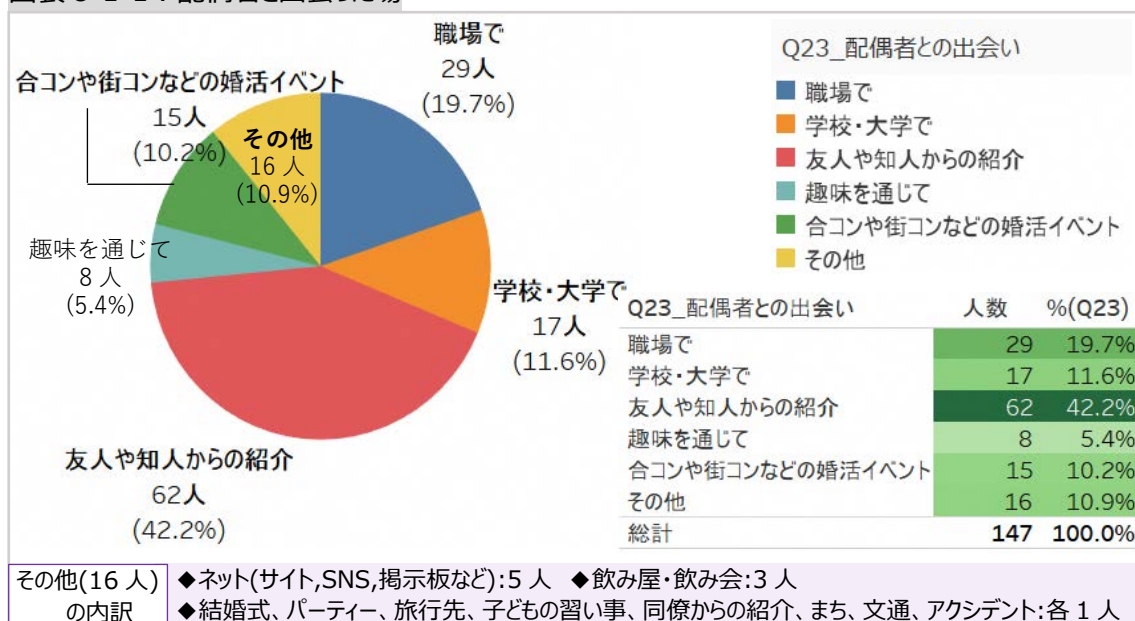
8.1 結婚に至った要因と周囲からの影響

<配偶者との出会いの場・仲良くなったきっかけ>

配偶者との出会いの場は、友人・知人からの紹介もしくは職場・学校

出会いの場で最も多いのは「友人や知人からの紹介(42.2%)」で、「職場・学校(計 31.3%)」を含めると約 7 割を占める。「合コンや街コン(10.2%)」よりも、友人・知人からの紹介や職場・学校で配偶者と出会い、結婚に至った回答者が多い 結果となった。

図表 8-1-1 : 配偶者と出会った場



仲良くなるきっかけは、連絡先の交換・日常の交流・食事やお酒への誘い

出会ってから仲良くなるきっかけであるが、約半数の回答者が「連絡先を交換」「普段会ったり話しているうちに」と回答していた。次いで「飲み会や食事会などへの誘い」であり、SNS での交流は少数であった。

図表 8-1-2：配偶者と仲良くなったきっかけ ※複数回答可



<結婚した理由>

結婚した理由で一番大きいのは、相手と性格や気が合うから

結婚した理由として多くの回答者が選んだ理由は「相手と性格や気が合うから」であった。次いで「幸せな家庭を築きたいから」「好きな人とずっと一緒にいたいから」となるが、実際に結婚に至った理由としては相手との相性の良さが非常に大きいといえる。

図表 8-1-3：結婚した理由 ※順位回答

Q25_結婚した理由	<グループD> 既婚者(n=147)					
	順位	ポイント	割合	1位	2位	3位
相手と性格や気が合うから	1位	183	57.1%	20.4%	26.5%	10.2%
幸せな家庭を築きたいから	2位	163	61.2%	16.3%	17.0%	27.9%
好きな人とずっと一緒にいたいから	3位	163	44.9%	27.2%	11.6%	6.1%
相手の人格や人間性が尊敬できるから	4位	126	40.1%	15.0%	15.6%	9.5%
子どもが欲しいから	5位	64	28.6%	4.1%	6.8%	17.7%
子どもができたから	6位	62	20.4%	8.2%	5.4%	6.8%
経済的に安定したいから	7位	54	21.1%	4.1%	7.5%	9.5%
1人だと寂しいから	8位	31	12.2%	2.0%	4.8%	5.4%
社会的な信用を得られるから	9位	16	5.4%	1.4%	2.7%	1.4%
その他	10位	15	5.4%	1.4%	2.0%	2.0%
家事や育児を助けて欲しいから	11位	3	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%
家を継がないといけないから	12位	2	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%
計				100.0%	100.0%	100.0%

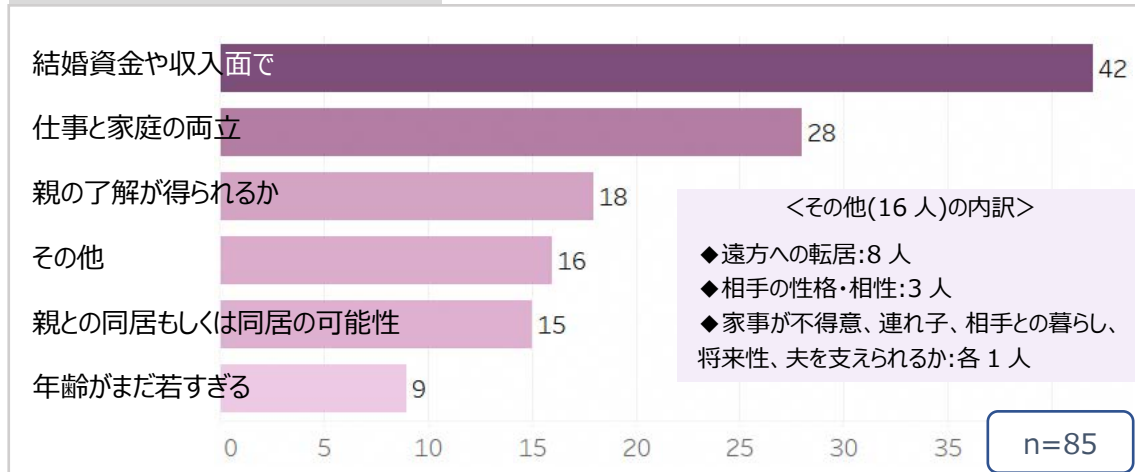
<その他の内訳> 1 位:成り行き、流れ/2 位:新婚旅行、相手が安定した職業、体調不良/3 位:適齢期、妥協

<結婚する時の心配要因>

約 6 割は心配要因があった(特にお金の問題)

結婚を決意するにあたり、回答者の約 6 割は「**心配要因があった**」と回答しており、その中で約半数は「**お金の問題**(結婚資金や収入面)」を挙げていた。

図表 8-1-4：結婚する時の心配要因 ※複数回答可

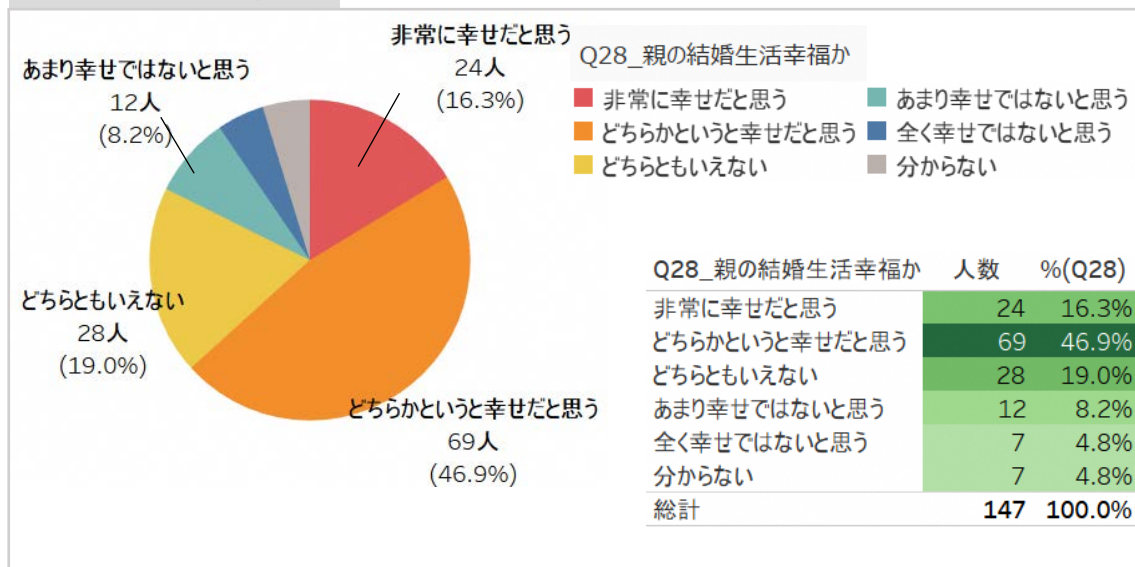


<周囲からの影響>

親の結婚生活は、結構幸せな方だと思う

自分の親の結婚生活は、「どちらかという幸せだと思う(46.9%)」が最も多く、「非常に幸せだと思う(16.3%)」を含めて約 6 割の回答者が幸せな方だと感じているといえる。

図表 8-1-5：親の結婚生活



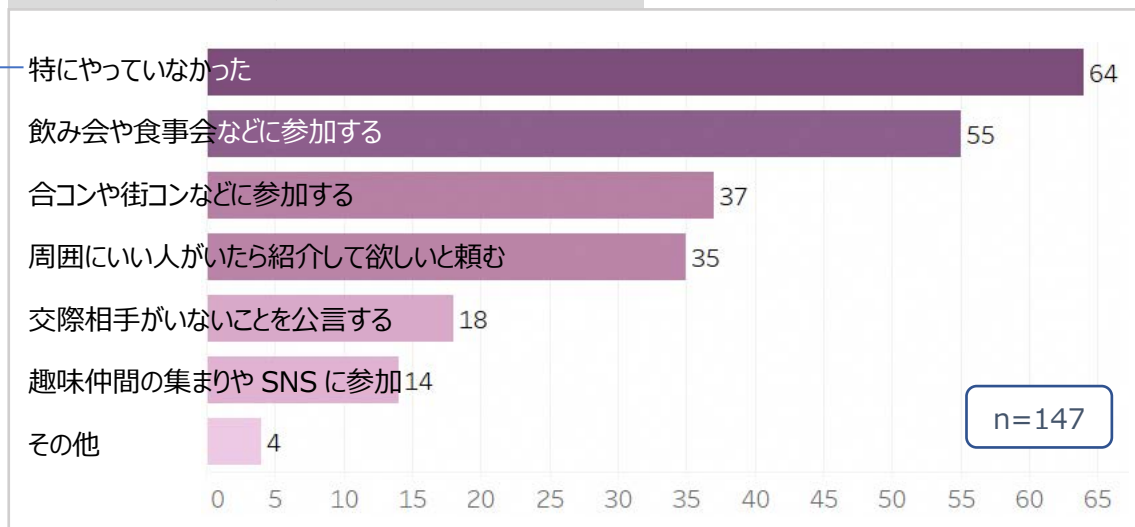
8.2 独身時代の探索行動

<交際相手や結婚相手を探すために独身時代にやっていたこと>

特にやっていないか、積極的な行動を取っている

交際相手や結婚相手を探すためにやっていたこととして、約半数が「特にやっていなかった」と回答している。次いで、「飲み会や食事会などに参加する」「合コンや街コンなどに参加する」と、相手を探すために「積極的な行動」をとっていた人も多いのが既婚者の特徴である。

図表 8-2-1：交際・結婚相手を探すためにやっていたこと ※複数回答可



<特に何もやっていなかった理由>

必要性がない・自然に出会いたいから

「そこまでする必要性を感じないから」、次いで「自然な流れで出会いたいから」という理由が挙げられ、「面倒だから」「自信の魅力に自信がない」「条件的に自分は不利」という回答は非常に少なくなっている。

図表 8-2-2：特にやっていなかった理由 ※複数回答可

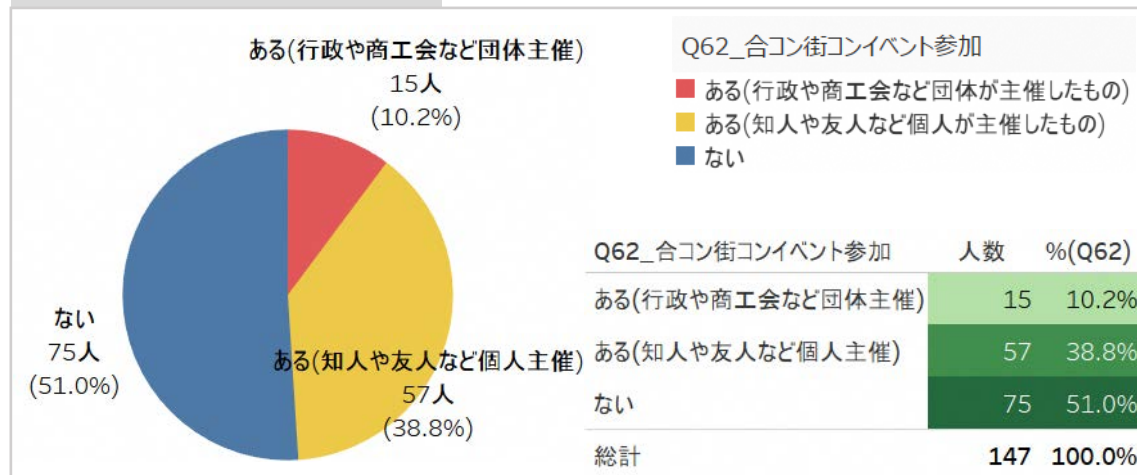


<合コン・街コンなどへの参加経験>

約半数はあり(特に個人が主催したもの)

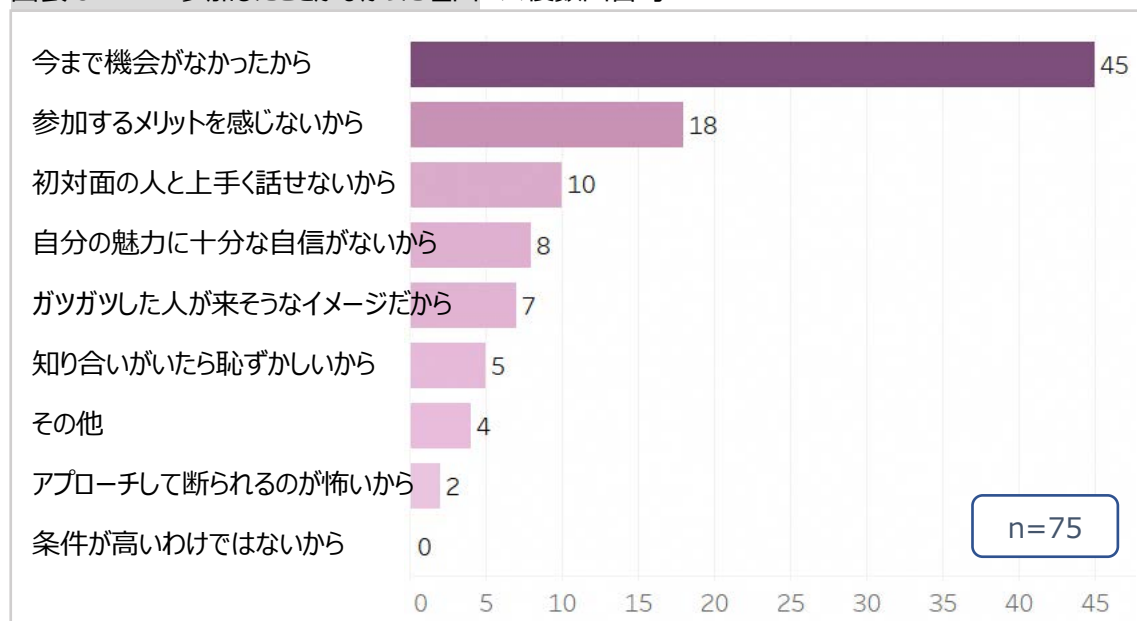
合コン・街コンなど出会いのイベントには、「ある(行政や商工会など団体主催)」、「ある(知人や友人など個人主催)」を含めて**約半数が参加経験あり**(計 49.0%)となった。その中でも**知人・友人など個人が主催したイベントの参加経験が多い**のが特徴である。

図表 8-2-3：合コン・街コン参加経験



参加したことがなかった理由として、「**今まで機会がなかったから**」が圧倒的に多く、次いで「**参加するメリットを感じない**」が挙げられていた。

図表 8-2-4：参加したことがなかった理由 ※複数回答可



8.3 結婚のメリット・デメリット

結婚してメリット・デメリットだと思うことについて自由記述を設けた。

<メリット>

「1位：子どもを持てた・可愛い」が最も多く、次いで「2位：側にいてくれる人がいる」
「3位：家族を持つ喜びがある」「4位：支え合う相手がいる」と、子どもや配偶者といった
家族を持つことでの喜びや幸せを感じている傾向を読み取ることができる。

<デメリット>

「1位：自由な時間がない」「2位：自由に行動できない」「4位：自由にお金を使えない」
と圧倒的に「自由のなさ(時間・行動・お金)」を挙げる人が多い。
その一方で、「2位：特になし」と、結婚のデメリットはないと回答した人も多かった。

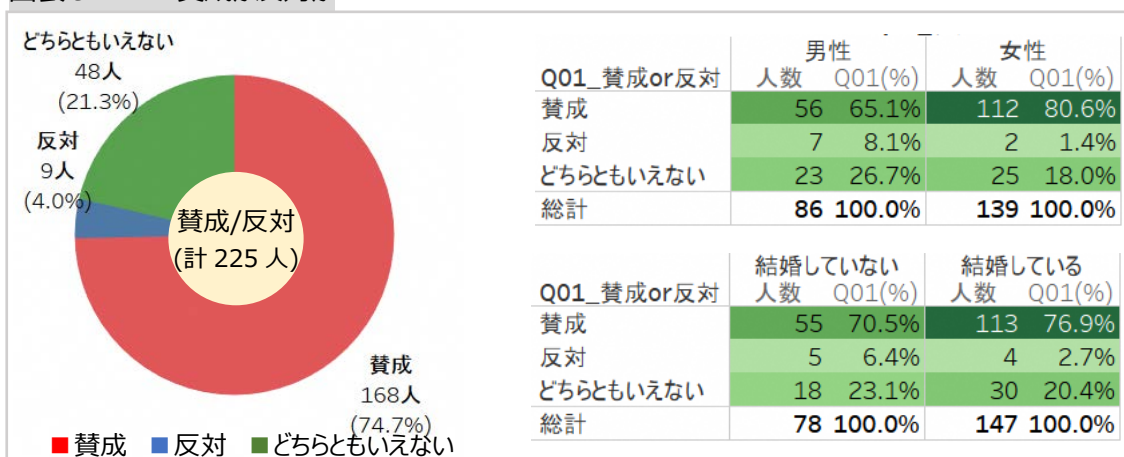
図表 8-3-1：結婚のメリット・デメリット

結婚して一番良かったと思うこと	結婚してデメリットだと思うこと
1位 …子どもを持てた・可愛い (36人)	1位 …自由な時間がない (31人)
2位 …側にいてくれる人がいる (18人)	2位 …自由に行動できない (20人)
3位 …家族を持つ喜びがある (15人)	2位 …特になし (20人)
4位 …支え合う相手がいる (12人)	4位 …自由にお金を使えない (11人)
5位 …毎日が楽しい (11人)	4位 …親・親戚との付き合い (11人)
5位 …心の安心・安定が得られる (11人)	6位 …家事・育児の負担 (9人)
7位 …日常の幸せを感じる (10人)	7位 …金銭的な負担大 (5人)
8位 …経験を共有できる相手がいる (8人)	8位 …自分の仕事に制約を受ける (3人)
9位 …人間的に成長できる (7人)	9位 …責任が大きい (2人)
10位 …経済的に安定する (6人)	9位 …相手の転勤(2人)
11位 …好きな人と一緒にいられる (5人)	9位 …自分の親と離れた(2人)
その他 (4人)	その他 (13人)

9 その他の質問

9.1 行政による結婚支援への意見(賛成/反対)

図表 9-1-1：賛成か反対か



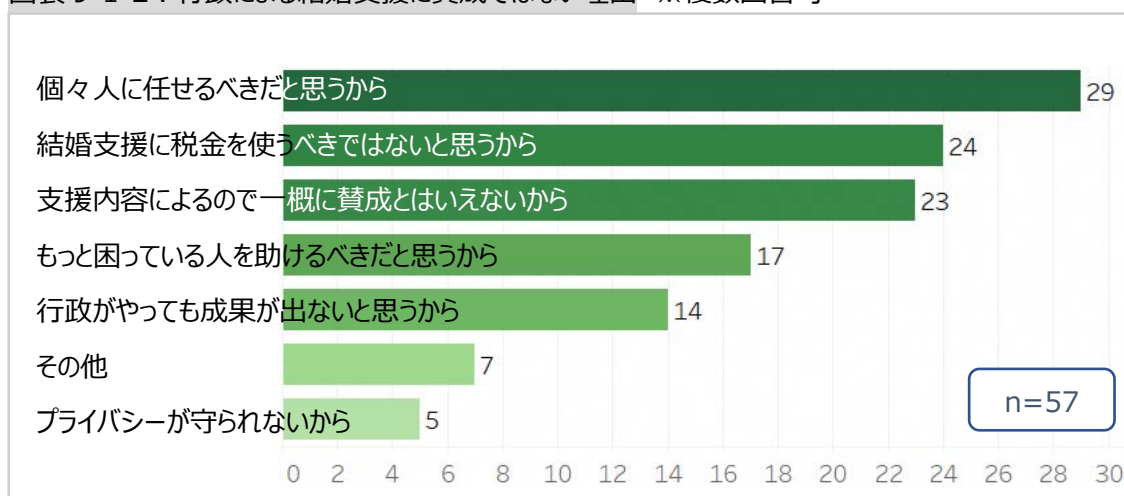
約 7 割が賛成、女性や既婚者は賛成派が多い傾向

行政が結婚支援を行うことに賛成か反対かについては、**回答者の約 7 割(74.7%)が賛成**と回答しており、反対は 4.0%となった。性別や結婚有無別にみると、女性や既婚者の賛成率が高く、女性では約 8 割が賛成となっている。

賛成でない理由は、個人に任せるべき・税金を使うべきではない

「どちともいえない」「反対」である理由として、最も多かったのは「**個々人に任せるべき**」で、半数以上がこれを選択していた。次いで「**結婚支援に税金を使うべきではない**」「**支援内容によるので一概に賛成とはいえない**」という理由が挙げられた。

図表 9-1-2：行政による結婚支援に賛成ではない理由 ※複数回答可



9.2 コミュニケーション力と自分への自信

<コミュニケーション力>

良好な友人関係を築いたり、相手と仲良くなるスキルに苦手意識

既婚者 D グループと比較したところ、A グループは「色々な人と知り合って人脈を広げたい」と回答する人が多いものの「友人関係に恵まれている」と回答する人が少なく、人とのつながりを持ちたい一方で、友人関係を築くことに苦手意識を持っている傾向を読み取ることができる。

また、「話や会話が上手である」「誰とでもすぐ仲良くなれる」という対人関係を深めるスキルについても自分に当てはまらないと回答する人が多い。

<自分への自信>

自分の努力に対する自信はあるが、外見や能力に対する自信が弱い

A グループは「努力すればたいの事は実現できると思う」と回答する人が多いが、自身の外見や仕事(能力)に対する周りの評価については低いと回答する傾向を読み取ることができる。

図表 9-2-1：コミュニケーション力・自信

		A メインターゲット (n=40)	D 既婚者 (n=147)	ALL 計 (n=225)
コミュニケーション力	話や会話が上手である	25.0%	< 38.1%	32.4%
	友人関係に恵まれている	27.5%	< 57.1%	49.8%
	知らない人とも気軽に会話できる	35.0%	44.9%	38.7%
	誰とでもすぐ仲良くなれる	22.5%	< 34.7%	28.9%
	異性の友人が多い	22.5%	14.3%	15.6%
	色々な人と知り合って人脈を広げたい	60.0%	> 44.9%	47.6%
自分への自信	努力すればたいの事は実現できると思う	60.0%	> 45.6%	45.8%
	自分の外見を人から褒められる方だ	15.0%	21.8%	20.9%
	仕事のことで人から評価される方だ	35.0%	39.5%	36.9%

※各質問項目に対し「よく当てはまる」+「どちらかという当てはまる」を合計した割合を表す。

9.3 SNSの利用実態

プライベートで利用する SNS の利用頻度²については、**普段 LINE を使っている回答者が最も多かった**。約 9 割がアカウントを持っており、交際相手が欲しいか結婚したい A グループで約 8 割、既婚者 D グループで約 9 割がほぼ毎日か時々利用している。

次いで利用頻度が多いのは、A グループの場合は Twitter で約半数がほぼ毎日か時々利用している。D グループは Facebook か Instagram で、約 3 割がほぼ毎日か時々利用という状況であった。

図表 9-3-1 : SNS の利用実態

利用頻度	LINE			Twitter		
	A メインターゲット (n=40)	D 既婚者 (n=147)	ALL 計 (n=225)	A メインターゲット (n=40)	D 既婚者 (n=147)	ALL 計 (n=225)
ほぼ毎日使っている	47.5%	74.1%	66.7%	32.5%	10.2%	16.4%
時々使っている	35.0%	17.7%	20.9%	15.0%	6.8%	9.8%
あまり使わない	5.0%	0.7%	1.8%	2.5%	3.4%	3.1%
ほとんど使わない	5.0%	2.0%	3.1%	7.5%	12.2%	11.1%
全く使わない	0.0%	0.0%	0.4%	12.5%	14.3%	14.2%
仕事でのみ使用	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
アカウントなし	7.5%	5.4%	6.2%	30.0%	53.1%	45.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

利用頻度	Facebook			Instagram		
	A メインターゲット (n=40)	D 既婚者 (n=147)	ALL 計 (n=225)	A メインターゲット (n=40)	D 既婚者 (n=147)	ALL 計 (n=225)
ほぼ毎日使っている	5.0%	11.6%	9.3%	12.5%	16.3%	15.1%
時々使っている	20.0%	23.8%	20.4%	2.5%	17.7%	12.9%
あまり使わない	5.0%	8.2%	7.1%	5.0%	5.4%	4.4%
ほとんど使わない	7.5%	8.8%	10.7%	10.0%	4.1%	5.3%
全く使わない	12.5%	10.2%	10.7%	7.5%	10.9%	10.7%
仕事でのみ使用	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
アカウントなし	50.0%	36.7%	41.3%	62.5%	45.6%	51.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

² 全てのツールにおいて「アカウントなし」「全く使わない」の 2 つを選択した回答者 2 名については、「アカウントなし」に統一して集計した。

10 巻末資料

10.1 自由記述一覧(結婚促進要因)

A グループ(交際相手が欲しい・結婚したい)：結婚相手を探しやすくなる要因

性別	年齢	Q67_あなたにとって、どうなったら結婚相手を探しやすくなると思いますか？	出会い	経済的 余裕	時間的 余裕	積極性	支援・ サービス	その他
女性	40	ひとりでも参加しやすい街コン ひとり親家庭の補助をもう少しもらえたら、経済的に安定ができ参加する余裕ができる	○	○				
男性	32	出会いの場が多ければ探しやすくなる。	○					
女性	24	いろんなところへ出かける				○		
男性	34	とにかく色々な出会いの機会が無いと始まらないと思うけれど初対面でトントンと行かないことも多いので同じメンツで複数回何か体験をするみたいな性格等を分かるくらい交流するような街コンが良い。やる方は大変だと思いますが。	○					
男性	23	時間とお金を下さい		○	○			
男性	21	仕事の関係上、出会いの機会が少ない人が多いと思うので若者が集まりやすい環境や場所を作ってあげたらいいのかなと思います オシャレなカフェや話題性のある建物などなど	○					
男性	20	出会い系のような、サイトを作ればいいかなと思う。ある程度近い人であれば会おうかなと思うから。					○	
男性	39	若返れば						○
女性	23	仕事の拘束時間が長いし、サービス業ですので、土日など休みではないから、周り予定を合わせるのが難しいこと。			○			
男性	23	経済的に安定すること。		○				
男性	22	多くの出会いを提供して頂いたら 積極的に参加すると思う	○					
男性	34	同じ趣味の人が集える場所	○					
女性	32	参加しやすい出会いの場があればいいと思います。	○					
男性	34	結婚を希望しているけど現在パートナーがいない人がパートナーの希望を登録して条件が合う人同士に情報を提供するようなものがあればきっかけの1つになるかもしれません。 (要は結婚相談所？のようなもの)					○	
男性	23	知り合いを作れるような集まりの機会が少なく、三沢市の特徴である在日米軍人と気軽に交流できる施設が少ないと思う。例えば、出会いを求めている米軍人と日本人の食事会を企画してみるのも良いと思います。	○					
男性	29	休み合はん			○			
男性	21	出会いの場を増やし、お互い積極性を持って話しかけることができれば	○			○		
男性	25	自分自身が変わらなければいけないので 他者の人がいくらどうこう動いてくれようと 僕自身が動かなければ無意味に終わってしまう				○		
男性	33	恋愛や結婚に求められる条件が高くなりすぎているのではないかと。現在は、ルックスが良く、収入もあり、ファッションやコミュニケーションなどのスキルも身に付けていないと交際や結婚に辿り着くことはできない。これをクリアできる人間がどれだけいるのか、それがそのまま現在の少子化・晩婚化の数字に表れていると思う。昔は、どこか一つでも「いいところ」があれば評価されていたのではないかと。そういう社会風土を醸成することが少子化の根本的解決に必要なと思う。						○
			9	3	3	3	2	2

B グループ(交際相手と結婚したい)：交際相手と結婚しやすくなる要因

グループ	性別	年齢	Q68 あなたにとって、どうなったら現在交際中の相手と結婚しやすくなると思いますか？	行政の支援	収入や貯蓄の増加	時間や仕事の余裕	その他
B	男性	36	安定した職				○
B	女性	20	休みが合わず、なかなか二人の時間が作れないので、もっとお互いの時間が合えばいいなと思うことはあります。			○	
B	女性	37	児童手当や、教育費への援助。	○			
B	男性	31	・収入アップ・養育費、保育料の無償化 高齢者も大事だがこれからの子供達のために子供達が暮らしやすい育てやすい三沢市にしていけば結婚に繋がるのかなと思います。	○	○		
B	男性	35	市による金銭的な支援。	○			
B	男性	33	特になし。子供の育児、教育に関して充実すれば、良いと思う。他の地域にない行政サービス。具体的にはわからないが、目に見えない。	○			
B	男性	34	市街からの移住者に仕事を紹介したり、また、その相手が障害者である場合に支援を厚くするなど。	○			
B	女性	39	わからない				
B	女性	24	遠距離じゃなくなり、ある程度貯蓄ができれば。		○		
B	女性	23	保育士、幼稚園教諭の仕事量や残業の軽減				○
B	女性	20	お互いの仕事に余裕をもてるようになったら。			○	
				5	2	2	2

10.2 参考情報/ C1～C4 グループ

C1. 結婚だけしたい (交際相手なし / 交際願望なし / 結婚願望あり) <n=5>

<交際相手を欲しいと思わない理由> ※複数回答可

- ◆交際や恋愛が面倒だから：3人
- ◆相手に束縛されたくないから、今は趣味や娯楽を楽しみたいから、今は友達との時間を大切にしたいから、交際にはお金がかかるから、時間がなくなるから、その他：各2人
- ◆今は仕事やキャリアを優先させたいから、過去の恋愛にトラウマがあるから：各1人

<結婚したい理由> ※順位回答

- 1位：経済的に安定したいから(7ポイント)
- 2位：子どもが欲しいから(5ポイント)、社会的なプレッシャーを感じるから(5ポイント)
- 4位：その他(4ポイント)
- 5位：1人だと寂しいから(3ポイント)、好きな人とずっと一緒にいたいから(3ポイント)
- 7位：家事や育児を助けて欲しいから(2ポイント)
- 8位：幸せな家庭を築きたいから(1ポイント)

C2. 交際だけしたい（交際相手なし / 交際願望あり / 結婚願望なし）<n=2>

<結婚したくない理由> ※複数回答可

- ◆食事や趣味などを一緒に楽しみたいから、恋愛を楽しみたいから：各1人

<交際相手が欲しい理由> ※順位回答

- 1位：結婚や子育てにはお金がかかるから、結婚する必要性を強く感じていないから
- 2位：結婚する必要性を強く感じていないから、結婚にいいイメージを持ってないから
- 3位：責任を伴う(重く感じる)から、趣味や娯楽を楽しみたいから

C3. 交際も結婚もしたくない（交際相手なし / 交際願望なし / 結婚願望なし）<n=9>

<交際相手が欲しくない理由> ※複数回答可

- ◆交際や恋愛が面倒だから：4人
- ◆相手に束縛されたくないから、今は仕事やキャリアを優先させたいから、今は趣味や娯楽を楽しみたいから、その他：各2人
- ◆過去の恋愛にトラウマがあるから、交際にはお金がかかるから、時間がなくなるから：各1人

<結婚したくない理由> ※順位回答

- 1位：結婚する必要性を強く感じていないから(16ポイント)
- 2位：結婚にいいイメージを持ってないから(11ポイント)
- 3位：責任を伴う(重く感じる)から(10ポイント)
- 4位：結婚や子育てにはお金がかかるから(5ポイント)
- 5位：自由でいたいから(4ポイント)
- 6位：その他、仕事やキャリアを優先させたいから(各3ポイント)
- 8位：趣味や娯楽を楽しみたいから(2ポイント)

C4. 交際相手はいるが結婚したくない（交際相手あり / 交際願望なし）<n=4>

<交際相手と結婚しやすくなる要因>

- ◆相手が経済的に自立する、自分に依存しない、干渉しない：1人
- ◆自分に満足したら：1人